

# Video Client

Version 1.6



# BOSCH

ja ソフトウェアマニュアル



# 目次

<b>1</b>	はじめに	<b>5</b>
1.1	システム要件	5
1.2	ソフトウェアのインストール	5
1.3	アプリケーションでの表示の見方	6
<b>2</b>	起動と設定	<b>7</b>
2.1	システムの概要	7
2.1.1	Video Client	7
2.1.2	Configuration Manager	7
2.1.3	Export Player	8
2.2	起動	8
2.3	ログオン方法	8
2.4	Configuration Manager による設定	9
2.4.1	Video Client のセットアップ	9
2.4.2	設定の保存	11
2.4.3	設定ウィザード	11
2.4.4	ライセンスのインストール	12
<b>3</b>	ユーザーインターフェース	<b>14</b>
3.1	ライブモード	14
3.2	再生モード	14
3.3	基本的な概要	15
3.4	ツールバーのアイコン	17
<b>4</b>	ユーザー設定の設定	<b>19</b>
<b>5</b>	分割画面での操作	<b>21</b>
5.1	クイックビューの作成	21
5.2	分割画面のキャリブレーション	22
5.3	分割画面の装飾の設定	23
5.4	分割画面のコンテキストメニュー	23
<b>6</b>	システム枠での操作	<b>25</b>
6.1	システム枠のアイコン	25
6.2	[ 映像デバイスリスト ] パネル	26
6.3	[ お気に入りビュー ] パネル	27
6.4	お気に入りの設定	29
6.4.1	お気に入りビューの作成	29
6.4.2	お気に入りシーケンスの作成	30
<b>7</b>	ライブ映像および録画映像の表示	<b>31</b>
7.1	シーケンスの開始	31
7.2	詳細の表示	32
7.3	カメラの制御	33
7.3.1	カメラコントロール	33
7.3.2	マウスによる制御	34
7.4	再生制御	35
7.4.1	再生コントロール	35
7.4.2	タイムラインパネル	36
7.5	デジタルズーム	38
7.6	音声の制御	39
7.7	簡易再生	39
7.8	モニターウォールへの割り当て	40

---

<b>8</b>	入力と出力の制御	<b>42</b>
<b>9</b>	スクリーンショットの保存と表示	<b>43</b>
<b>10</b>	ビデオクリップのエクスポート	<b>44</b>
10.1	ワークステーションによる録画	44
10.2	録画のビデオクリップのエクスポート	44
10.3	[ ジョブのエクスポート ] パネル	45
<b>11</b>	保存されたクリップの表示	<b>46</b>
<b>12</b>	録画の検索	<b>47</b>
12.1	イベントの検索	47
12.2	VCA 検索	48
12.3	テキストの検索	49
<b>13</b>	テキストビューア枠の使用	<b>50</b>
<b>14</b>	ステータスメッセージの取得	<b>51</b>
<b>15</b>	付録	<b>52</b>
15.1	標準キーボードショートカット	52
15.2	IntuiKey キーボードの使用	55
15.2.1	IntuiKey キーボードのインストール前に	55
15.2.2	IntuiKey キーボードのセットアップ	56
15.2.3	IntuiKey キーボードによる制御	56
15.3	コマンドラインからの起動	57
15.4	映像オーバーレイ	58

# 1 はじめに

Video Client は、ネットワークに接続されているカメラのライブ表示、制御、検索、再生機能を実現するコンピューターアプリケーションです。

リモート制御機能には、カメラのパン、チルト、およびズームがあります ( AUTODOME の全コントロールを含む )。接続されているカメラのオンラインステータスを確認したり、Configuration Manager アプリケーションで、カメラおよびシステムを設定したりすることができます。

Forensic Search ツールは、Video Client の重要な機能であり、インテリジェント映像解析 ( IVA ) のような映像コンテンツ解析 ( VCA ) アルゴリズムに基づいて、録画された素材から対象を検索する強力な手段を提供します。

## 1.1 システム要件

動作プラットフォーム : Windows XP SP3、Windows Vista SP2、Windows 7、または Windows 8 のいずれかが実行され、.NET 3.5 がインストールされているコンピューター。

コンピューターの推奨要件は次のとおりです。

- CPU : Intel Pentium DualCore 3.0 GHz 相当
- RAM メモリ : 4096 MB
- ハードディスクの空き容量 : 10 GB
- グラフィックカード : NVIDIA GeForce 8600 以上
- ビデオメモリ : 256 MB
- ネットワークインターフェース : 100/1000 Base-T

## 1.2 ソフトウェアのインストール

1. 製品ディスクをコンピューターの光学式ドライブに挿入します。  
インストールプログラムが自動的に起動します。
2. インストールが自動的に開始されない場合は、ディスク内の **BVC-...-Installer.exe** ファイルをダブルクリックします。
3. 画面に表示される指示に従って、インストールを完了します。

注意 :

ソフトウェアアップデートが定期的にリリースされています。最新のバージョンについては、Bosch Security Systems の Web サイトでご確認ください。

### VRM のロギングサポート

VRM ログを Video Client ログブックに統合するには、次の手順に従います。

1. Video Client インストールフォルダー ( デフォルトでは C:\Program Files\Bosch\Video Client ) から **VrmLogMonitor.exe** と **VrmLogService.exe** を、VRM を実行するコンピューターのフォルダーにコピーします。
2. VRM コンピューターからコマンドシェルを開きます。コンピューターは必ず管理者として実行してください。
3. **VrmLogMonitor.exe** および **VrmLogService.exe** が保存されているフォルダーに移動します。
4. 「VrmLogService.exe -i」と入力してサービスをインストールします。
5. 「VrmLogService.exe -s  
」と入力してサービスを起動します。これにより、ログモニターサービスから、接続されているすべての Video Client アプリケーションに現在の VRM ログがすべて報告されるようになります ( 15 分前にさかのぼって開始されます )。

このサービスは、システム起動時に自動的に起動されます。

- サービスを停止するには、「VrmLogService.exe -k」と入力します。
- サービスを完全に削除するには、「VrmLogService.exe -u」と入力します。

## 1.3 アプリケーションでの表示の見方

### アイコンの色について

- 無効な機能は淡色表示されます。
- アクティブな選択項目は、ライブモードではオレンジ色、再生モードでは青で強調表示されます。

### カレンダー画面





日付を入力する必要がある画面でカレンダーアイコンをクリックすると、カレンダー画面が表示されます。

- 矢印キーをクリックすると、月を変更できます。
- 日付をクリックすると、選択した値が入力された状態で日付ボックスに戻ることができます。
- ESC キーを押すと、日付を変更せずに画面が閉じます。

### リスト

- リストで列の見出しをクリックすると、その列の項目を基準にしてリストが並べ替えられます。
- もう一度クリックすると、リストが逆順で並べ替えられます。
- リストが長くて画面に収まらない場合は、スクロールバーを使用してリストをスクロールします。

### ツリーのノードの展開 / 折りたたみ

さまざまなパネルのツリー構造では、ノードアイコンの横に  または  が表示されます。 をクリックするとノードが展開されます。ノードを折りたたむには  をクリックします。

### 枠の表示と非表示を切り替える

枠には、情報や操作のためのさまざまなパネルが用意されています。各枠には、二重矢印アイコンの付いたハンドルがあります。

- 目的の枠を表示するには、二重矢印アイコンにポインターを合わせます。アイコンがピンに変わります。ユーザーインターフェースの別のセクションにポインターを移動すると、パネルは自動的に非表示になります。
- パネルを継続して表示するには、二重矢印アイコンをクリックします。矢印が逆方向を示します。
- パネルを非表示にするには、二重矢印アイコンをもう一度クリックします。

### 複数選択

複数のアイテムを選択するには、1 つのアイテムをクリックし、**Ctrl** キーを押しながら、選択する他のアイテムをクリックします。

## 2 起動と設定

以後の章では、システムのセットアップやアプリケーションに関する一般的な情報について説明します。

### 2.1 システムの概要

Video Client は次のコンポーネントで構成されています。

- Video Client  
ライブ表示 / 再生アプリケーション
- Configuration Manager  
システム構成アプリケーション
- Export Player  
(たとえば、証拠として使用される場合などに) システムがインストールされていないコンピューターで、エクスポートされた映像を表示するためのオプションのアプリケーション

#### 2.1.1 Video Client

このアプリケーションには、ライブ表示とカメラ制御のためのモード、および録画映像とエクスポートされた映像の再生のためのモードがあります。

IP アドレスまたは URL を使用して、デバイスに直接ログオンします。または、Configuration Manager アプリケーションを使用して、あらかじめ監視システムをセットアップしておきます。デフォルトでは、Video Client がサポートできるカメラは最高 16 台です。このシステムを拡張するためのライセンスも各種用意されています。

参照項目:


- *Configuration Manager による設定*, ページ 9
- *ログオン方法*, ページ 8
- *ライセンスのインストール*, ページ 12

#### 2.1.2 Configuration Manager

Configuration Manager アプリケーションを使用して、ワークステーション録画のためのデフォルトのバスや IntuiKey キーボードの使用など、Video Client の一般的な設定を設定します。

事前設定済み監視システムで作業したい場合は、Configuration Manager アプリケーションを使用して、以下のように監視システムをセットアップします。

- 統合設定ウィザードを使用して、システムの基本設定を簡単に設定する
- ユーザーグループと権限を管理する
- システムにデバイスを追加し、デバイスをグループにまとめる
- 同時接続の数を制限するために、グループをサイトに変換する  
デフォルトでは、Video Client を開始すると、システム内のカメラのうち、サイトに属していないカメラはすべて自動的に接続されます。サイトおよびサイトのデバイスへの接続を実行するには、もう一段階必要です。一度に接続できるサイトは 1 つだけです。
- カメラ、デジタル入力、およびアラーム出力へのアクセス権を割り当てる

管理者は、Video Client の  アイコンで、Configuration Manager アプリケーションを開くことができます。初めて起動する場合は、ログオン画面で [ **Start setup** ] をクリックして、アプリケーションを開きます。

### 2.1.3 Export Player

このアプリケーションは、エクスポートされた映像トラックを見るためのビューアとして開発されました。このアプリケーションを、エクスポートされたファイルにアクセスする任意のコンピューターにインストールしてください。これにより、システムがインストールされていないコンピューターでも、トラックを見ることができます。たとえば、トラックを証拠として使用する場合に有用です。

Export Player アプリケーションは、使いやすく、アプリケーションヘルプも用意されています。

## 2.2 起動

プログラムの起動

インストールが完了したら、デスクトップの  アイコンをダブルクリックして、プログラムを起動します。[ スタート ] - [ すべてのプログラム ] を選択してアプリケーションを起動することもできます ([ スタート ] - [ すべてのプログラム ] - [ Bosch Video Client ] - [ Bosch Video Client ] )。

コマンドラインからの起動

このプログラムは、追加のパラメーターを指定してコマンドラインからも起動できます。

参照項目:

- コマンドラインからの起動, ページ 57

## 2.3 ログオン方法

アプリケーションを起動すると、ログオン画面が表示されます。ログオン画面には、デバイスに直接ログオンする方法または事前設定済みの監視システムにログオンする方法が用意されています。事前設定は、Configuration Manager アプリケーションで設定します。

初めて起動する場合、すべての入力ボックスは空欄で、[ セットアップ開始 ] ボタンが表示されます。このボタンをクリックして Configuration Manager アプリケーションを起動してください。または、デバイスに直接ログオンしてください。


デバイスに直接ログオンするには、次のように操作します。

1. [ 次に接続: ] ボックスに、ログオンするデバイスの URL または IP アドレスを入力します。デバイスが適切に設定されている場合は、DDNS アドレスを使用することもできます。
2. 対応するユーザー名とパスワードを入力します。
3. [ 直接ログオン ] をクリックします。  
アクセスできない場合は、管理者に確認してください。

事前設定された監視システムにログオンするには、次のように操作します。

1. [ 次に接続: ] ボックスは空欄にしておきます。
2. ユーザー名とパスワードを入力します。システムがパスワードで保護されていない場合は、ユーザー名「**administrator**」でログオンしてください。パスワードは不要です。
3. [ ログオン ] をクリックします。  
アクセスできない場合は、管理者に確認してください。

ログオフしてアプリケーションを終了するには、次のように操作します。

1. ツールバーで  をクリックしてログオフします。
2. ログオン画面で [ 終了 ] をクリックしてアプリケーションを終了します。  
ユーザー設定で [ Kiosk モード ] が選択されている場合、このボタンは使用できません。

参照項目:

- Configuration Manager による設定, ページ 9



- ユーザー設定の設定, ページ 19

## 2.4 Configuration Manager による設定


Configuration Manager アプリケーションを使用して、ワークステーション録画のためのデフォルトのパスや IntuiKey キーボードの使用など、Video Client の一般的な設定を設定します。

事前設定済み監視システムで作業したい場合は、Configuration Manager アプリケーションを使用して、以下のように監視システムをセットアップします。

- 統合設定ウィザードを使用して、システムの基本設定を簡単に設定する
- ユーザーグループと権限を管理する
- システムにデバイスを追加し、デバイスをグループにまとめる
- 同時接続の数を制限するために、グループをサイトに変換する

デフォルトでは、Video Client を開始すると、システム内のカメラのうち、サイトに属していないカメラはすべて自動的に接続されます。サイトおよびサイトのデバイスへの接続を実行するには、もう一段階必要です。一度に接続できるサイトは 1 つだけです。

- カメラ、デジタル入力、およびアラーム出力へのアクセス権を割り当てる

管理者は、Video Client の  アイコンで、Configuration Manager アプリケーションを開くことができます。初めて起動する場合は、ログイン画面で [ セットアップ開始 ] をクリックして、アプリケーションを開きます。

### 2.4.1 Video Client のセットアップ

アプリケーションのデフォルトの設定を行います。カメラ等のコンポーネントは、一度デバイスをシステムに追加しないと、表示されるようになりません。設定ウィザードを使用して実行してください。詳細については、Configuration Manager のマニュアルを参照してください。

**Video Client** のデフォルト設定の変更方法：

1. [ 環境設定 ] タブをクリックします。
2. アプリケーションで、[ **Video Client** ] をクリックします。

次の設定に従って、Video Client を設定します。

- [ ユーザー管理 ] グループタブで、必要に応じてユーザーのアカウント、パスワード、およびアクセス権を設定します。
- [ カメラ ] グループタブで、正しいカメラが選択されていること、正しい順序になっていることを確認し、アクセス権を割り当てます。
- [ デジタル入力 ] グループタブで、正しい入力を選択されていること、正しい順序になっていることを確認し、アクセス権を割り当てます。
- [ アラーム出力 ] グループタブで、正しいアラーム出力が選択されていること、正しい順序になっていることを確認し、アクセス権を割り当てます。
- [ アプリケーション ] グループタブでは、ワークステーション録画とキーボードの使用を設定し、ライセンスを管理します。

**ユーザー管理の設定**

システムは、パスワード保護なしで実行することもできます。ただし、その場合でも、一度 Configuration Manager アプリケーションがコンピューターで実行された後は、ユーザー名に「**administrator**」と入力しなければ、Video Client にはログインできません ( 直接ログインしない場合 )。

それでもなお、ニーズに合ったユーザー管理を実行してシステムを保護することを強くお勧めします。

ユーザーを作成し、ユーザーの権限を管理するには、次の手順に従って操作します。

1. [ ユーザー管理 ] グループを選択します。
2. さらにユーザーを作成するには、[ 追加... ] をクリックします。

- ダイアログボックスが表示されます。
3. ユーザー名とパスワードを入力します。
  4. ユーザー権限を個別に定義するには、作成したユーザーのリストで目的のエントリーを選択します。[ アクセス権 ] で、必要なオプションのチェックボックスをオンにします。
  5. ユーザーを削除するには、作成したユーザーのリストで目的のエントリーを選択し、[ 削除 ] をクリックします。

#### コンポーネントの選択

1. コンポーネントの選択対象であるグループに応じて、そのグループに対応する [ カメラの順序 ] [ デジタル入力の順序 ]、または [ 出力の順序 ] タブを選択します。
2. [ Video Client ] に表示するコンポーネントをオンにします。  
これらのリストの順序は、Video Client にあるリストと同じです。
3. リスト内で選択したコンポーネントの位置を変更するには、[ 先頭 ] [ 上に ] [ 下に ] および [ 下 ] ボタンをクリックします。

#### コンポーネントのアクセス権の割り当て

1. 権限の割り当て対象であるグループに応じて、そのグループに対応する [ カメラのアクセス ] [ デジタル入力のアクセス ]、または [ 出力へのアクセス ] タブを選択します。  
デフォルトでは、各ユーザーには、最高の認証レベルが割り当てられています。
2. ユーザーのアクセス権を変更するには、目的の認証レベルが選択されるまで、対応するテーブルのセルを左クリックします。  
または、対応するテーブルのセルを右クリックして、リストから目的の認証レベルを選択します。
3. すべてのコンポーネントに対して、ユーザーに同じ認証レベルを割り当てるには、目的の列または行のヘッダーを右クリックし、目的の認証レベルを選択します。

#### ワークステーション録画の設定と IntuiKey の利用

1. [ アプリケーション ] グループの [ アプリケーション ] タブを選択します。
2. ワークステーション録画へのパスを選択します。ここに何も入力しなかった場合、デフォルトの設定が使用されます。  
- **Windows XP :**  
%current user%\My Documents\Bosch\Video Client\Recording  
- **Windows 7 / Windows 8 / Windows Vista :**  
%current user%\Documents\Bosch\Video Client\Recording  
ワークステーション録画に使用されるハードディスクの最大容量を GB 単位で定義します。何も入力しなかった場合、「10」が使用されます。  
指定のハードディスク容量に達すると自動的に録画が削除されるようにするには、このチェックボックスをオンにします。
3. キーボードの使用を有効にした場合は、IntuiKey 通信ポートを選択します。

#### ライセンス

[ アプリケーション ] グループの [ ライセンス ] タブでは、Video Client のカメラチャンネルのライセンス情報を確認できます。Video Client のインストールには、標準で 16 個のカメラチャンネルがあります。ライセンスを購入して、チャンネルを追加することができます。  
ここに表示されたホスト ID は、追加のカメラチャンネルのライセンスをインストールするために必要です。有効になっているカメラチャンネルの数が表示されます。追加のライセンスをインストールするために、[ ライセンスを追加... ] をクリックしてダイアログボックスを表示します。


#### 参照項目:

- [ライセンスのインストール](#), ページ 12

## 2.4.2 設定の保存

完了時：



1. [  ] をクリックして、設定を保存します。
2. Configuration Manager アプリケーションを閉じます。

## 2.4.3 設定ウィザード

監視システムの初期設定を支援するウィザードを起動するには、Configuration Manager アプリケーションの [ ツール ] メニューで [ 設定ウィザード... ] をクリックします。設定ウィザードでは、最初のインストール時に、監視システムの最も重要なパラメーターを簡単に設定できます。

ウィザードが表示されたら、画面の指示に従って設定を行います。ウィザードの画面を移動するには、[ 次へ > ] と [ < 戻る ] をクリックします。



パスワード

全部で 3 つの認証レベルに対して、システム全体で汎用的に使用するパスワードを入力し、確認のためにもう一度同じパスワードを入力します (パスワードを使用しない場合は、これらのボックスを空にしておきます)。

Configuration Manager アプリケーションでのこれらの認証レベルのデフォルトのユーザー名は、システムでこれらの Bosch のデバイスに自動的にマップされます。たとえば、デバイスにアクセスするとき、**administrator** 用の Configuration Manager のパスワードは、アクセスレベル「**service**」に使用されます。

認証レベル	デフォルトのユーザー名	
	Configuration Manager	Bosch 映像デバイス
最上位	administrator	service
中間	operator	user
最下位	live	live



レコーダー

デバイスにローカルに録画するか (例: SD カード) または VRM レコーダーを使用するかを選択します。レコーダーを使用して録画する場合は、関連する IP アドレスを入力するか、設定済みレコーダーのアドレスをリストから選択します。



デバイスの選択

ネットワークで検出されたすべてのデバイスがリストに表示されます。検出されていないデバイスがあると考えられる場合は [ 更新 ] をクリックします。

チェックマークが付いたすべてのデバイスが設定されます (IP アドレスが割り当てられます)。ウィザードを使用してデバイスを設定しない場合は、ボックスをクリックしてチェックマークをオフにします。

緑色の正方形が付いたデバイスは、すでに VRM レコーダーに割り当てられています。これらの選択が

解除されると、割り当てが無効になり、関連付けられた録画は削除されます。

DHCP を使用した IP アドレスの設定に対応していないデバイスもあります。必要に応じて、これらのデバイスを手動で設定します。



ネットワーク

すべてのデバイスで DHCP がサポートされており、IP アドレスの割り当てを自動的に行う場合は、**[ DHCP を使用 ]** をオンにします。

または、IP アドレスの範囲を入力します。この場合、設定が必要なすべてのデバイスの IP アドレスが入る範囲を指定します。



日付と時刻

日付と時刻をコンピューターの設定から取得するか、SNTP サーバーから取得するかを選択します。必要に応じて、コンピューターのシステム時刻と日付をリセットするか、または SNTP サーバーの IP アドレスを入力します。



画質

全デバイスの映像品質を決定するには、このスライダーを使用します。各デバイスの設定は自動的に行われます。必要に応じて、帯域幅の制限を設定します。



録画

すべてのデバイスに対して同一の録画スケジューラーを作成します。録画モード (**[ 連続 ]**、**[ 動体検出 ]**、または **[ オフ ]**) を選択し、画質のスライダーを調整することで、3 つの録画プロファイル (**[ 昼間 ]**、**[ 夜間 ]**、および **[ 週末 ]**) を定義します。週間録画カレンダーは、これらのプロファイルにより入力されます。スケジュール設定を必要とする録画がない場合は、録画プロファイルそれぞれについて、オフモードを選択する必要があります。



概要

設定内容の概要が表示されます。設定を変更するには、**[ < 戻る ]** を 1 回クリックするたびに、ウィザードの 1 つ前の手順に戻ることができます。

**[ 適用 ]** をクリックすると、選択した内容に従ってデバイスが設定されます。ウィザードをキャンセルするには **[ キャンセル ]** をクリックします。

## 2.4.4

### ライセンスのインストール

Video Client のライセンスをインストールするには、次の手順に従って操作します。

1. ライセンスの注文 - 認証コードを受け取ります。
2. Configuration Manager アプリケーションの **[ ライセンス ]** タブで、コンピューターのホスト ID を確認します。
3. 認証コードを使用して、Bosch ライセンスマネージャー (<https://activation.boschsecurity.com/>) にログインします。
4. ライセンスアクティベーションデータ (ホスト ID など) を入力して送信します。
5. アクティベーションコードを受信するために、E-メールアドレスを入力します。
6. 受信した E-メールからハードディスクにライセンスキーファイルを保存します。

7. Configuration Manager アプリケーションの [ ライセンス ] タブで、[ ライセンスを追加... ] をクリックします。
8. ハードディスクのライセンスキーファイルに移動して選択し、[ 開く ] をクリックします。
9. ライセンスが有効になっていることを確認します。
10. 設定を保存して Video Client を再起動します。

参照項目:

- *Video Client のセットアップ*, ページ 10

## 3 ユーザーインターフェース

Video Client には、ライブモードと再生モードがあります。どちらのモードでも、ユーザーインターフェースのレイアウトは同じです。ただし、それぞれの機能をサポートするために、異なるツールやパネルが用意されています。

### 3.1 ライブモード




ライブモードに切り替えるには、ツールバーで  をクリックします。ライブモードでは、このボタンとアクティブな選択項目はオレンジ色で強調表示されます。

ライブモードでは、次のことを実行できます。

- ライブ映像を表示する
- 別の分割画面レイアウトを選択する
- お気に入りビューを設定する
- カメラを分割画面に割り当てる
- アクティブになっている分割画面の簡易再生を開始する
- ビデオクリップをコンピューターのハードディスクに手動で録画する
- アクティブになっている分割画面の静止フレームのスクリーンショットを保存する
- モニターウォールを設定する
- カメラを制御する
- デバイスのステータスとアラーム状態を監視する
- 保存済みスクリーンショットを表示する

### 3.2 再生モード



再生モードに切り替えるには、ツールバーで  をクリックします。再生モードでは、このボタンとアクティブな選択項目は青色で強調表示されます。

再生モードでは、次のことを実行できます。

- 単一分割画面または 4 分割画面を選択する
- 録画トラックまたはバックアップを再生分割画面に割り当てる
- 録画を検索する
- 再生を制御する
- 選択したビデオシーケンスをコンピューターのハードディスクにエクスポートする
- アクティブになっている再生分割画面の静止フレームのスクリーンショットを保存する
- 保存されているスクリーンショットおよびビデオクリップを表示する

### 3.3 基本的な概要

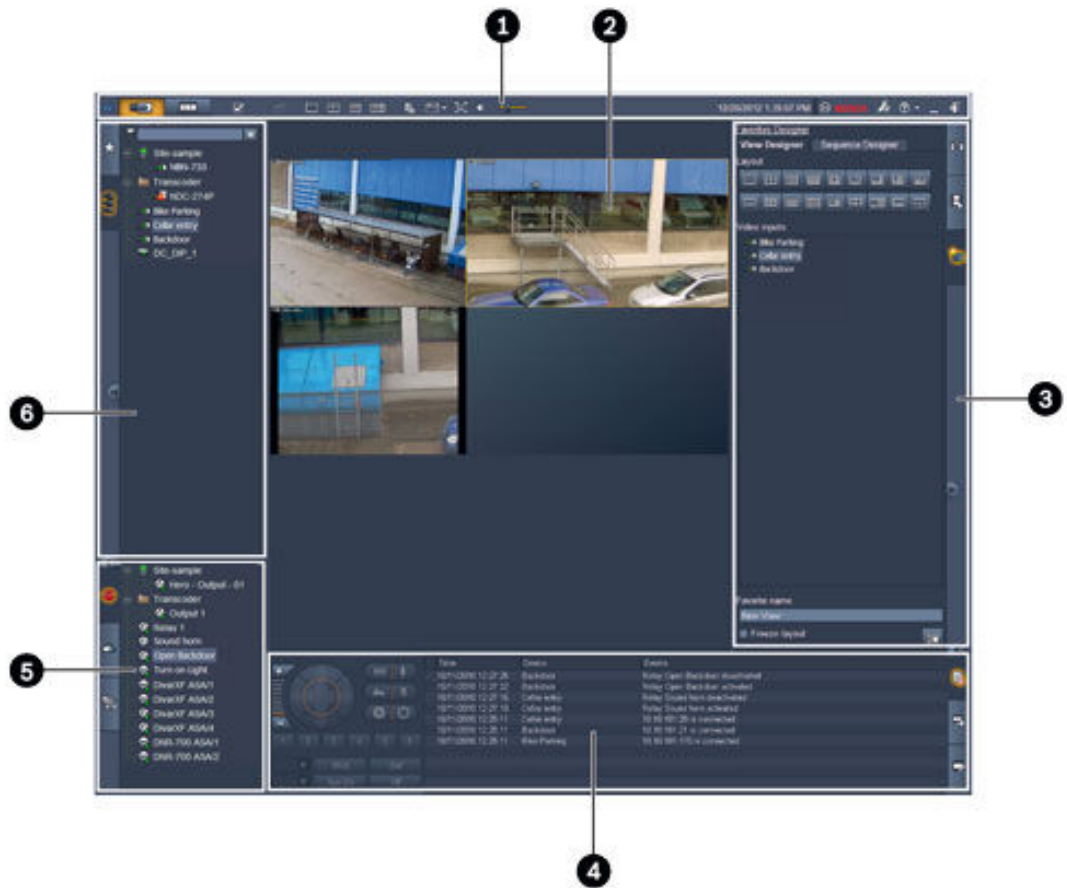


図 3.1: ユーザーインターフェースのレイアウト (例: ライブモードのアプリケーションのスクリーンショット)

1	ツールバー	4	情報と操作枠
2	分割画面領域	5	アクセサリとアーカイブ枠
3	タスク枠	6	システム枠

#### ツールバー

各種機能のアイコンがあります (詳細は後述)。


#### 分割画面領域

映像を見るための「分割画面」と呼ばれるビューレットを表示します。映像表示領域は、1つの画面または分割画面にすることができます。この領域は、セカンドモニターにドラッグすることができます (セカンドモニターがある場合)。

#### タスク枠


各モードでパネルを開くには、対応するタブをクリックします。

– 両モード:


[  分割画面取り込み ] パネル

- ライブモード :




[  簡易再生 ] パネル



[  お気に入りデザイナー ] パネル

モニターウォールが設定されている場合は、以下のタブも追加で表示されます。



[  モニターウォール ] パネル

- 再生モード :




[  イベント検索 ] パネル




[  VCA 検索 ] パネル

Divar 700 に接続されたカメラがシステムに割り当てられている場合は、以下のタブも追加で表示されます。



[  テキスト検索 ] パネル

#### 情報と操作枠

枠を開くには、ウィンドウの右下の  をクリックします。枠の左側には、カメラや再生を制御するためのコンソールがあります。各モードでパネルを開くには、枠の右側で対応するタブをクリックします。

- ライブモード :



[  ログブック ] パネル


- 再生モード :




[  タイムライン ] パネル

- 両モード :




[  ジョブのエクスポート ] パネル




[  分割画面キャリブレーション ] パネル

#### アクセサリとアーカイブ枠


枠を開くには、ウィンドウの左下の  をクリックします。各モードでパネルを開くには、対応するタブをクリックします。

- ライブモード :




[  アラーム出力 ] パネル



[  アラーム入力 ] パネル

- 再生モード :



[  エクスポート ] パネル



- 両モード :



[ スクリーンショット ] パネル

システム枠

パネルを開くには、対応するタブをクリックします。



- [ お気に入りビュー ] パネル







- [ 映像デバイスリスト ] パネル

これらのパネルに表示されるアイコンの一覧については、以下を参照してください。

### 3.4

#### ツールバーのアイコン

	ライブモード	Video Client アプリケーションをライブモードに切り替えます ( オレンジ色の強調表示 )。
	再生モード	Video Client アプリケーションを再生モードに切り替えます ( 青色の強調表示 )。
	ユーザー設定	ユーザー設定を設定するダイアログボックスを表示します。
	シーケンスの開始/停止 ( ライブモードのみ )	分割画面表示のシーケンスを開始および停止します ([ お気に入りビュー ] パネルでシーケンス ( 複数のビュー ) または [ 映像デバイスリスト ] パネルで複数のカメラを選択している場合にのみ、アクティブになります )。
	クイックビュー	分割画面領域で画面をすばやく配置するためのレイアウトがいくつか用意されています。レイアウトはボタンのアイコンに表示されています。ボタンの数はライブモードと再生モードで異なっています。
	テキストビューア枠を開く	[ テキストビューア ] 枠を開きます ( ライブモードでは、Divar 700 に接続されているカメラがシステムに割り当てられている場合のみ可能です )。
	分割画面の装飾選択	分割画面の表示方法 ( 追加情報をトップバーに表示するか、オーバーレイとして表示するか ) を選択します。さらに、分割画面に時刻と VCA データをオーバーレイとして表示することもできます。
	分割画面領域の最大化	分割画面領域が、[ Video Client ] ウィンドウのサイズまで最大化されます。通常モードに戻すには、ESC キーを押します。
	音声オン/オフ	音声のオンとオフを切り替えます。
	音量の変更	音量を調節します。


	<b>Configuration Manager</b> の起動	Configuration Manager アプリケーションを別の画面で起動します。
	ヘルプ索引を表示	ヘルプ索引が開き、使用できるヘルプファイルの一覧が表示されます。
	最小化	[ Video Client ] ウィンドウを最小化して、タスクバーに表示します。
	ログオフ	現在のユーザーはログオフして、ログオン画面に戻ります。

ツールバーには、日付と時刻、および CPU 使用率バーも表示されます。CPU 使用率バーにポインターを重ねると、CPU 使用率がパーセント単位で表示されます。

ツールバーをダブルクリックすると、アプリケーション画面のサイズがモニター画面いっぱいになるように最大化されます。通常モードに戻すには、ツールバーをもう一度ダブルクリックします。

## 4 ユーザー設定の設定

これらの設定はログオンしているユーザー用に保存され、そのユーザーが同じコンピュータでログオンするたびに適用されます。

1. ツールバーで  をクリックして、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスを開きます。
2. 目的のタブをクリックし、後述の手順に従って設定します。
3. [ OK ] をクリックし、変更内容を保存して終了します。または、[ キャンセル ] をクリックし、設定を変更せずにダイアログボックスを閉じます。

### [ 設定 ] タブ

1. アラームの発生時にアプリケーション画面を最大化する場合は、[ アラーム発生時に前景に移動 ] チェックボックスをオンにします。
2. アクティブにするアラームやエラーの項目のチェックボックスをオンにします。  
指定したアラームやエラーが発生すると、警告音が鳴ります。
3. デフォルトでは、Video Client アプリケーションの時刻が、分割画面でオプションの時刻として表示されます。デバイスで設定された実際の時刻を表示するには、[ ローカルデバイスの時間を表示 ] チェックボックスをオンにします。
4. [ Video Client ] ウィンドウを永続的に全画面表示するには、[ Kiosk モード ] チェックボックスをオンにします。Kiosk モードでは、[ Video Client ] ウィンドウのサイズを変更したり、アプリケーションを終了したりすることはできません。  
このチェックボックスを使用できるのは、管理者だけです。この機能を有効にするには、再起動する必要があります。
5. シーケンス表示で次の映像に切り替わるまでの時間を、リストから選択します。
6. 簡易再生のリストから、時間のオフセットを選択します。
7. Windows で設定されているモニターが複数ある場合は、セカンドモニターとして使用するモニターの [ 2 台目のモニターを有効化 ] チェックボックスをオンにします。下のボックスで、使用するモニターを選択します。

### [ ディレクトリ ] タブ

1. 監視対象のエクスポート映像がある場所を入力します。これらの場所にあるファイルはすべて、(再生モードでのみ使用可能な) アクセサリとアーカイブ枠の [ エクスポート ] パネルに一覧表示されます。
2. 監視対象の撮影映像がある場所を入力します。これらの場所にあるファイルはすべて、アクセサリとアーカイブ枠の [ スクリーンショット ] パネルに一覧表示されます。  
ワークステーション録画の場所は、情報として表示されます。この場所は、Configuration Manager アプリケーションで設定されています。これらの録画に再生モードでアクセスするには、このパスを監視対象のエクスポート場所のリストに追加します。


### [ モニターウォール ] タブ

モニターウォールのセットアップは、デコーダーをシステムに追加している場合にのみ可能です。使用できるデコーダーは [ デコーダー ] ボックスに一覧表示されます。サイトに属しているデコーダーは、サイトに接続されている場合にのみ一覧表示されます。  
直接ログオンしている場合、このタブは使用できません。

1. [ デコーダー ] ボックスからモニターウォールグリッドの任意の位置に、デコーダーをドラッグします。

または、デコーダーと任意の位置を選択して、 をクリックします。

2. グリッドのデコーダーを新しい位置にドラッグし、グリッドを並べ直します。

- 位置を解放するには、位置を選択して  をクリックします。デコーダーはグリッドから削除され、[デコーダー] ボックスに一覧表示されます。

参照項目:

- *Video Client のセットアップ*, ページ 10

## 5 分割画面での操作

分割画面とは、ライブ映像、録画、エクスポートされたビデオクリップ、およびアーカイブされたスクリーンショットを表示するために使用する表示部分です。これらは分割画面領域に表示されます。

### 5.1 クイックビューの作成





クイックビューは、最も迅速に映像を表示できる方法です。分割画面のレイアウトを決定し、各分割画面に目的の映像を表示させます。

ライブモードの場合、各クイックビューの設定は、ログオンしているユーザーに対して保存されます。この設定は、このユーザーが同じコンピューターにログオンするたびに適用されます。そのため、ユーザーが再度ログオンすると、クイックビューが最新のビデオ / 分割画面の割り当てで表示されます。再生モードの場合、割り当てが有効なのはセッションの実行中のみです。

分割画面レイアウトを決定するには、次のように操作します。

頻繁に使用する分割画面レイアウトは、クイックビューのボタンとして用意されています。レイアウトはボタンのアイコンに表示されています。使用できるボタンの数は、ライブモードと再生モードで異なります。


- ▶ 分割画面領域のレイアウトを変更するには、ツールバーでクイックビューのボタンをクリックします。

-  単一分割画面
-  2×2 分割画面
-  3×3 分割画面 (ライブモードのみ)
-  4×3 分割画面 (ライブモードのみ)

ビデオ / 分割画面の割り当てを完了すると、ボタンをクリックするだけで、対応するクイックビューが最新のビデオ / 分割画面の割り当てで表示されます。

分割画面への割り当て

ライブモードの場合、システム枠に一覧表示されているアクティブなカメラの映像を見ることができます。

再生モードの場合、オンボードストレージ (メモリーカード)、またはダイレクト iSCSI や VRM ストレージ、または DIVAR ストレージを持つカメラで作成された録画映像を見ることができます。そのようなトラックや VRM バックアップがあるデバイスの場合、デバイスアイコンの横に  が表示されます。


サイトのカメラは、サイトに接続されている場合にのみ一覧表示されます。一度に接続できるサイトは 1 つだけのため、1 つのビューでは 1 つのサイトのカメラしか見ることができません。

別のクイックビューに別のサイトのカメラを割り当てている場合は、そのビューに切り替えると、割り当てられた別のサイトに自動的に接続されます。

単一の分割画面に割り当てるには、次の手順に従って操作します。

- ライブモード：
  - 分割画面を選択し、システム枠にある目的のカメラをダブルクリックします。
  - システム枠からカメラを分割画面にドラッグします。
  - 分割画面をダブルクリックし、リストから映像入力を選択します。

- 再生モード：


システム枠のデバイスノードの横に  が表示されているデバイスの場所を探します。デバイスに複数のトラックやバックアップがないか確認するには、デバイスノードを展開してください。

- 分割画面を選択し、目的のトラックやバックアップをダブルクリックします。
- 目的のトラックやバックアップを分割画面にドラッグします。
- 分割画面を右クリックし、映像入力のリストから目的のトラックやバックアップを選択します。

分割画面に映像が表示されます。分割画面の縦横比は、映像の縦横比に従って調整されます。

複数の分割画面に割り当てるには、次の手順に従って操作します。


- ライブモード：
  - 複数のカメラを選択し、システム枠から分割画面にドラッグします。
- 再生モード：

システム枠のデバイスノードの横に  が表示されているデバイスの場所を探します。デバイスに複数のトラックやバックアップがないか確認するには、デバイスノードを展開してください。

- 複数のトラックやバックアップを持つ 1 つのデバイスを分割画面にドラッグします。
- トラックやバックアップを持つ複数のデバイスにマークを付け、分割画面にドラッグします。
- 別のデバイスが持つ複数のトラックやバックアップにマークを付け、分割画面にドラッグします。

選択した項目をドラッグした分割画面の境界線は色付きになり、その分割画面が選択されていることがわかります。この色付きの境界線は、選択した映像の中でも最上位のエントリであることを示します。残りの分割画面は、左から右、上から下の順に映像が割り当てられていきます。分割画面の列の縦横比は、カメラの縦横比に従って調整されます。

分割画面の位置を並べ替えるには、次の手順に従って操作します。


1. ツールバーで、 をクリックし、[ タイトルバー ] を選択します。
2. 分割画面の位置を並べ替えるには、分割画面のタイトルバーを新しい位置までドラッグします。

分割画面をクリアするには、次のように操作します。

- 選択した分割画面の見出しの削除アイコンをクリックします。
- または、分割画面を右クリックして、[ 表示の停止 ] を選択します。


## 5.2 分割画面のキャリブレーション









[ 分割画面キャリブレーション ] パネルには、選択した分割画面のさまざまなカラーチャンネルの輝度、シャープネス、コントラスト、ガンマ補正値の設定が表示されます。必要に応じて値を設定します。

1. 情報と操作枠で、 をクリックして、[ 分割画面キャリブレーション ] パネルを開きます。
2. 特定のカラーチャンネルの値を確認するには、目的の色の四角形をクリックします。

分割画面をキャリブレーションするには、次のように操作します。


1. すべてのカラーチャンネルの設定を同時に変更するには、3色の四角形をクリックします。個別に変更する場合は、目的の色の四角形をクリックします。

これらの値のいずれかを変更すると同時に、分割画面に  アイコンが表示されます。これは分割画面の画像キャリブレーション設定が、カメラ映像のデフォルト設定とは異なることを示しています。

2. 分割画面の輝度を下げるには  を、上げるには  をクリックします。
3. 分割画面のコントラストを下げるには  を、上げるには  をクリックします。
4. 分割画面のガンマ補正値を下げるには  を、上げるには  をクリックします。
5. 分割画面のシャープネスを下げるには  を、上げるには  をクリックします。
6. 分割画面の設定を保存するには、[ デフォルトとして設定 ] をクリックします。
7. 値をカメラ映像のデフォルト設定に戻すには、[ リセット ] をクリックします。

## 5.3 分割画面の装飾の設定

映像では、カメラ名、警告メッセージ、日時など、デバイス自体が生成したオーバーレイを表示することができます。このようなオーバーレイは、Configuration Manager アプリケーションで設定されます。また、映像のオーバーレイでは、重要なステータス情報を表示することもできます。さらに、分割画面を設定して特定の情報を表示させることもできます。

1. ツールバーで  をクリックして、メニューを開きます。
2. 分割画面でデバイスアイコンとともにカメラ名も表示するには、目的の装飾の種類を選択します。
  - タイトルオーバーレイ  
情報をオーバーレイとして表示します。
  - タイトルバー  
情報が表示されるタイトルバーを分割画面に追加します。分割画面が複数あるレイアウトでは、タイトルバーをドラッグアンドドロップすると、分割画面の位置を並べ替えることができます。
3. カメラ名を表示しない場合は、[ 装飾なし ] を選択します。
4. オーバーレイに時刻を追加するには、[ 時間の表示 ] を選択します。  
デフォルトでは、Video Client アプリケーションの時刻が、ツールバーに表示されている時刻と同様に表示されます。[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスで、デバイスのローカル時刻を表示するように設定することもできます。
5. 映像コンテンツ解析 (VCA) の情報がある場合、それをオーバーレイとして表示するには、[ VCA データの表示 ] を選択します。

参照項目:

- ユーザー設定の設定, ページ 19
- 映像オーバーレイ, ページ 58

## 5.4 分割画面のコンテキストメニュー

分割画面を右クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。一部のコマンドについては、使用できない場合もあります。

- 映像入力を選択
  - ライブモード: 使用できるカメラが一覧表示されます。
  - 再生モード: 表示できるトラックやバックアップがあるカメラが一覧表示されます。
- デジタルズーム開始 / デジタルズーム停止  
デジタルズームを開始 / 停止します。
- ワークステーション録画の開始 / ワークステーション録画の停止 (ライブモードのみ)  
ワークステーション録画を開始 / 停止します。

- 分割画面の最大化 / 分割画面サイズの復元  
アクティブな分割画面を最大化 ( 単一の分割画面だけを表示 ) したり、元のサイズに戻したりします。
- 表示の停止  
分割画面をクリアします。
- 表示  
デバイスで提供されるストリームを一覧表示します。システム枠のカメラ用に設定されたストリームとは別のストリームを選択して表示することができます ( ストリームまたは映像入力の選択を変更するまでの間のみ有効 )。
- スクリーンショットの取り込み  
アクティブな分割画面のスクリーンショットがある [ 分割画面取り込み ] パネルを開きます。
- 簡易再生を開く ( ライブモードのみ )  
簡易再生できる映像がある場合、それを表示するための [ 簡易再生 ] パネルを開きます。
- プロパティ
  - ライブモード : 映像入力のプロパティを設定するダイアログボックスを開きます。
  - 再生モード : トラックやバックアップのプロパティを設定するダイアログボックスを開きます。
- インテリジェント追跡 ( ライブモードのみ )  
インテリジェント追跡を有効にすることができます ( デバイスでサポートされている場合 )。  
ライブモードでは、モニターウォールが設定されている場合、[ モニターに送信 ] および [ モニターにビューを送信 ] コマンドも使用できます。



**参照項目:**

- デジタルズーム, ページ 38
- ワークステーションによる録画, ページ 44
- スクリーンショットの保存と表示, ページ 43
- 簡易再生, ページ 39
- ユーザー設定の設定, ページ 19
- モニターウォールへの割り当て, ページ 40



## 6 システム枠での操作

Video Client 画面の左上には、次のような 2 つのサイドタブがあります。

-  をクリックすると、[ お気に入りビュー ] パネルが開きます。  
このパネルは、自分のお気に入りビューを設定するまで空の状態です ( 詳細は後述 ) 。
-  をクリックすると、[ 映像デバイスリスト ] パネルが開きます。  
このパネルには、システムで使用できるカメラがすべて表示されます。
  - 直接ログインの場合：入力した URL または IP アドレスに属するすべてのカメラ
  - 通常ログインの場合：Configuration Manager アプリケーションで設定された、システム内のすべてのカメラ

参照項目：










- ログイン方法, ページ 8
- Configuration Manager による設定, ページ 9

### 6.1 システム枠のアイコン

システム枠のパネルの各エントリには、その種類に関連したアイコンがあります。オーバーレイと色付きマークにより、ステータスに関する追加情報を提供することができます。アイコンとオーバーレイはさまざまに組み合わせることが可能です。以下は、システム枠のアイコンの例です。

デバイスアイコン

デバイスアイコンは、[ お気に入りビュー ] パネルと [ 映像デバイスリスト ] パネルの両方で使用されます。

-  カメラ本体が接続されていない ( グレーの点 )
-  カメラ本体が接続されている ( 緑色の点 )
-  ドームカメラが接続されている ( 緑色の点 )
-  カメラ本体で映像断が発生している ( 赤色の x 印 )
-  カメラ本体がアラームモードになっている ( 警告用三角形 )
-  カメラ本体が動体を検出している ( 歩行者 )
-  カメラ本体で動体検出アラームが発生している ( 警告用三角形アイコン付歩行者マーク )
-  カメラ本体がトランスコーダー経由で割り当てられ、接続されている ( 宝石型アイコンと緑の点 )
-  カメラ本体がトランスコーダー経由で割り当てられ、アラームモードになっている ( 宝石型と警告用三角形アイコン )

また、トランスコーダー経由で割り当てられたデバイスを示す宝石型アイコンの色は、以下のように変わる場合があります。

- 白色：トランスコードされたストリームがある場合
- 緑色：トランスコードされたストリームが表示されている場合
- 赤色：トランスコードされたストリームがない場合

注意：

指示に従って設定されている場合、DIVAR に接続されているカメラにはアラームモードオーバーレイ

 が表示されます。これは次の理由で接続が中断されていることを示しています。

- アナログカメラが物理的に切断されている。
- IP カメラがオフラインである。

#### [ 映像デバイスリスト ] アイコン

通常ログオンの場合、[ 映像デバイスリスト ] パネルで使用できるアイコンが他にもあります。使用できるアイコンは、Configuration Manager アプリケーションでシステムをセットアップした方法によって異なります。

- デバイスをグループ化してリストで見やすくする
  - 同時接続の数を制限するために、グループをサイトに変換する
- デフォルトでは、Video Client を開始すると、システム内のカメラのうち、サイトに属していないカメラはすべて自動的に接続されます。サイトおよびサイトのデバイスへの接続を実行するには、もう一段階必要です。一度に接続できるサイトは 1 つだけです。



サイトが接続されていない ( グレーの点 )



サイトは接続されているが、一部のデバイスにアクセスできない ( 黄色の点 )



サイトが接続されていて、割り当てられたデバイスすべてにアクセスできる ( 緑色の点 )



グループ

また、グループアイコンは、システムに追加されたトランスコーダーに接続されたカメラをグループ化するためにも使用されます。

#### [ お気に入りビュー ] アイコン

さまざまなビュー用のアイコンが用意されており、各アイコンの絵柄を見ると、選択した分割画面レイアウトがわかるようになっています。以下はアイコンの例の一部です。



3×3 分割画面のビュー



4×3 分割画面のビュー



1+12 分割画面 ( 中央 ) のビュー。接続されたサイトのデバイスを含みます ( 緑色の点 )。



2×2 分割画面のビュー。現在接続されていないサイトのデバイスを含みます ( グレーの点 )。



すべての定義済みシーケンスが表示されるシーケンスフォルダー。このフォルダーは、シーケンスを定義すると自動的に追加されます。



シーケンス

シーケンスアイコンは、シーケンス自体を示すだけでなく、現在アクティブなビューまたは実行中のシーケンスのデバイスを示すオーバーレイとしても使用されます。



2×2 分割画面のビュー。分割画面は、実行中のシーケンスで現在表示されています。





実行中のシーケンスで現在表示されているカメラ本体。シーケンスオーバーレイが表示される間、その他のオーバーレイ ( 映像断が発生している場合の赤色の x 印など ) は表示されません。

## 6.2

### [ 映像デバイスリスト ] パネル

[ 映像デバイスリスト ] パネルには、設定されているすべてのデバイスが表示されます。

#### [ 映像デバイスリスト ] パネルでの操作

- リストをフィルタリングするには、パネル上部の入力ボックスに検索文字列を入力します。映像デバイスリストはすぐにフィルタリングされ、文字列に一致しないエントリーは非表示になります。フィルタでは大文字と小文字が区別されず、空白は無視されます。
- グループ名またはサイト名が一致すると、そのグループまたはサイトに割り当てられているデバイスがすべて一覧表示されます。
- 割り当てられたデバイスが一致すると、対応するグループまたはサイトとともに一覧表示されます。( 同グループまたはサイトにある ) 一致しないデバイスは非表示になります。
- グループまたは接続されたサイトを展開し、そこに割り当てられたカメラを確認するには、 をクリックします。グループまたはサイトを折りたたむには、 をクリックします。
- サイトに接続するには、サイトをダブルクリックします。一度に接続できるサイトは 1 つだけです。
- コンテキストメニューを開くには、エントリーを右クリックします。

#### デバイスのコンテキストメニュー

コンテキストメニューを開くには、デバイスを右クリックします。一部のコマンドについては、使用できない場合もあります。

- 接続  
接続を実行します。
- 切断する  
接続を終了します。
- シーケンス  
選択したデバイスでシーケンスを開始します ( 少なくとも 2 つのデバイスを選択する必要があります )。
- モニターに送信  
選択できるモニターを一覧表示します ( メイン、セカンド、または ( セットアップされている場合は ) モニターウォール )。
- 優先ストリーム  
デバイスで提供されるストリームを一覧表示します。分割画面で表示するデフォルトのストリームを選択してください。
- プロパティ  
対応するダイアログボックスを開きます。

#### サイトのコンテキストメニュー

コンテキストメニューを開くには、サイトを右クリックします。一部のコマンドについては、使用できない場合もあります。

- 接続  
サイトへの低帯域での接続を実行します。デフォルトでは、これがサイトアイコンをダブルクリックした場合の接続タイプです。
- 切断する  
接続を終了します。




## 6.3 [ お気に入りビュー ] パネル

ライブモードでは、[ お気に入りビュー ] パネルには、[ お気に入りデザイナー ] パネルで作成したさまざまなビューやシーケンスが表示されます。再生モードでは、シーケンスは表示されません。

注意 :

「-sites」パラメーターを指定して、アプリケーションをコマンドラインから起動した場合、[ お気に入りビュー ] タブの代わりに [ サイトコネクタ ] タブが表示されます。

#### [ お気に入りビュー ] パネルでの操作

- ライブモードの場合、分割画面領域でビューを表示するには、そのビューをダブルクリックします。サイトに属しているカメラがそのビューに含まれている場合、自動的にそのサイトに接続されます。
- 再生モードの場合、分割画面領域でビューを表示することはできません。ただし、録画があるデバイスを探すためにエントリーを展開することはできます ( デバイスアイコンの横に  があります )。
- エントリーを展開するには、 をクリックします。
  - ビューの場合、そのビューに割り当てられているカメラが表示されます。
  - シーケンスフォルダーの場合、使用できるシーケンスが表示されます。
  - シーケンスの場合、そのシーケンスに属しているビューとカメラが表示されます。
- エントリーを折りたたむには、 をクリックします。
- コンテキストメニューを開くには、エントリーを右クリックします。

#### デバイスのコンテキストメニュー

コンテキストメニューを開くには、デバイスを右クリックします。一部のコマンドについては、使用できない場合もあります。

- 接続
  - 接続を実行します。
- 切断する
  - 接続を終了します。
- シーケンス
  - 選択したデバイスでシーケンスを開始します ( 少なくとも 2 つのデバイスを選択する必要があります )。
- モニターに送信
  - 選択できるモニターを一覧表示します ( メイン、セカンド、または ( セットアップされている場合は ) モニターウォール )。
- 優先ストリーム
  - デバイスで提供されるストリームを一覧表示します。分割画面で表示するデフォルトのストリームを選択してください。
- プロパティ
  - 対応するダイアログボックスを開きます。

#### ビューのコンテキストメニュー

コンテキストメニューを開くには、ビューを右クリックします。一部のコマンドについては、使用できない場合もあります。

- シーケンス
  - 選択したビューでシーケンスを開始します ( 少なくとも 2 つのビューを選択する必要があります )。
- モニターに送信
  - 選択できるモニターを一覧表示します ( メイン、セカンド、または ( セットアップされている場合は ) モニターウォール )。
- ビューの保存
  - ビデオを分割画面に新しく割り当てたり、分割画面を並べ替えるなど、ビューに加えた変更を保存します。

- ビューの削除  
それ以上の予告なしに、ビューをリストから削除します。ビューが分割画面領域に表示されている場合、別のビューを選択するまで、そのビューはそこに表示されたままになります。
- ビュー名の変更  
ビューの新しい名前を入力することができます。
- プロパティ  
対応するダイアログボックスを開きます。

#### シーケンスのコンテキストメニュー

コンテキストメニューを開くには、シーケンスを右クリックします。一部のコマンドについては、使用できない場合もあります。

- シーケンス  
選択したシーケンスでシーケンスを開始します (少なくとも2つのシーケンスを選択する必要があります)。
- モニターに送信  
選択できるモニターを一覧表示します (メイン、セカンド、または (セットアップされている場合は) モニターウォール)。
- シーケンスの削除  
それ以上の予告なしに、シーケンスをリストから削除します。シーケンスが分割画面領域で実行中の場合、別のシーケンスを選択するまで、そのシーケンスはそこに表示されたままになります。
- シーケンスの名前を変更  
シーケンスの新しい名前を入力することができます。
- プロパティ  
対応するダイアログボックスを開きます。

#### 参照項目:

- コマンドラインからの起動, ページ 57

## 6.4 お気に入りの設定

お気に入りビューやシーケンスのセットアップを詳細に行うことを勧めします。1つのビューは、映像と分割画面という割り当て関係をセット化したものであり、簡易ライブ表示のときに使用できます。このようなビューは、1台のカメラとセットでお気に入りのシーケンスに含めることができます。お気に入りの設定できるのは、ライブモードのみです。

- ▶ タスク枠で  をクリックして、[お気に入りデザイナー] パネルを開きます。

[お気に入りデザイナー] パネルには2つのタブがあります。

- お気に入りビューを設定して保存するには、[ビューデザイナー] タブをクリックします。
- お気に入りシーケンスを定義して保存するには、[シーケンスデザイナー] タブをクリックします。


### 6.4.1 お気に入りビューの作成

お気に入りビューを作成するには、[ビューデザイナー] タブを使用します。カメラビューは、建物のエントランスを見せるすべてのカメラをグループ化して表示したいときなどに便利な機能です。

1. [ビューデザイナー] タブでレイアウトボタンをクリックし、レイアウトを選択します。レイアウトが分割画面に表示されます。  
非対称のレイアウトにするためにボタンを続けてクリックする場合、レイアウトの向きが変わります。

2. [映像入力] リストから分割画面にカメラをドラッグします。  
サイト内のカメラは、サイトが接続されている場合のみリストに表示されます。一度に接続できるサイトは1つだけのため、1つのビューでは1つのサイトのカメラしか見ることができません。
3. [お気に入り名] ボックスで、新しいビューの名前を入力します。
4. 分割画面の縦横比が再割り当て時に変更されないように、[静的レイアウト] チェックボックスをオンにします。



5.  をクリックします。

ビューが [お気に入りビュー] パネルに保存されます。

アラーム出力およびアラーム入力を [お気に入りビュー] パネルのビューにドラッグすると、システムの概要を作成することができます。






## 6.4.2

### お気に入りシーケンスの作成

お気に入りシーケンスを作成するには、[シーケンスデザイナー] タブを使用します。お気に入りビューと1台のカメラの組み合わせを選択し、目的の順序で並べます。

シーケンス移行時間は [ユーザー設定] ダイアログボックスで設定されます。


お気に入りシーケンスをセットアップするには、次のように操作します。

1. [ビュー] ボックスで、ビューまたはデバイスを選択します。  
サイト内のカメラは、サイトが接続されている場合のみリストに表示されます。1つのシーケンスで、異なる複数のサイトのカメラを使用することができます。各サイトは、対応するカメラビューがシーケンスに表示されている間、自動的に接続された状態になります。
2. [シーケンスリスト] ボックスに選択を追加するには、 をクリックします。リストが完成するまで、この操作を繰り返します。
3. シーケンスリストからエントリを削除するには、目的のエントリを選択し、 をクリックします。
4. シーケンスリストでエントリを並べ替えるには、エントリを1つ以上選択し、[上へ移動]  または [下へ移動]  ボタンをクリックします。
5. [シーケンス名] ボックスで、新しいシーケンスの名前を入力します。
6.  をクリックします。

シーケンスは、[シーケンス] フォルダーの [お気に入りビュー] パネルに保存されます。

お気に入りシーケンスを変更するには、次のように操作します。

シーケンスは、簡単に変更したり、新しいシーケンスの開始点として使用することもできます。

1. 既存のシーケンスのリストを読み込むには、[シーケンスデザイナー] タブで  をクリックします。  
[シーケンスの選択] ダイアログボックスが表示されます。
  2. 目的のシーケンスを選択します。
  3. [OK] をクリックします。
- 選択したシーケンスのコンポーネントが [シーケンスリスト] ボックスに表示され、自由に並べ替えられるようになります。

参照項目:

- ユーザー設定の設定, ページ 19



## 7 ライブ映像および録画映像の表示

ライブモードおよび再生モードのどちらでも、映像は分割画面領域に表示されます。分割画面およびデバイスの設定によっては、さらに追加の情報が表示されます。また、映像のオーバーレイでは、ステータス情報を表示することもできます（詳細は後述）。

ライブ映像を表示するには、次のように操作します。

1. ニーズに合わせて、クイックビューやお気に入りビューをセットアップします。
2. 目的のビューの表示を開始するには、次のように操作します。
  - [お気に入りビュー] パネルで、事前設定されたビューをダブルクリックします。  
または、ビューを分割画面領域にドラッグします。
  - ツールバーでクイックビューボタンの1つをクリックし、対応するクイックビューを最新のビデオ / 分割画面の割り当てで表示します。
3. ビデオ / 分割画面の割り当てをすばやく変更するには、システム枠にある別のカメラを分割画面にドラッグします。
  - クイックビューの場合、この新しい割り当ては、別のカメラを割り当てるまで維持されます。
  - お気に入りビューは、ビューを右クリックしてコンテキストメニューから [ビューの保存] を選択しない限り、いつでも呼び出し直して元の割り当てに戻すことができます。




録画された映像を表示するには、次のように操作します。

再生モードでは、お気に入りビューを呼び出すことはできません。クイックビューでは、ビデオ / 分割画面の割り当てはセッションの実行中のみ維持されます。

1. 目的の分割画面レイアウトを選択するには、ツールバーでクイックビューのボタンをクリックします。
2. 前述の手順に従って、分割画面にトラックやバックアップを表示します。
3. ビデオ / 分割画面の割り当てをすばやく変更するには、システム枠にある別のトラックやバックアップを分割画面にドラッグします。  
この割り当ては、別のトラックやバックアップを割り当てるまで維持されます。

トランスコードされたストリームの表示

トランスコードされたストリームを分割画面で表示する場合、分割画面にポインターを合わせると、追加のオプションを使用することができます。

- スライダーを使用して、フレームレート (  ) や画質 (  ) を改善することができます。画質を上げるとフレームレートが低下し、フレームレートを上げると画質が低下します。分割画面の映像を確認して、どちらの設定がニーズに合っているか判断してください。
- 表示を更新するには、  をクリックします。

参照項目:

- 映像オーバーレイ, ページ 58
- クイックビューの作成, ページ 21
- お気に入りの設定, ページ 29

### 7.1 シーケンスの開始


Video Client のライブモードでは、異なるビュー間やカメラ間の自動切り替えが可能です。シーケンスを開始する最も簡単な方法は、後述の手順に従ってツールバーの対応するボタンを使用することです。このようなシーケンスは保存されず、使用するたびにセットアップする必要があります。

他には、[シーケンスデザイナー] パネルでお気に入りシーケンスをセットアップする方法もあります。これらのシーケンスは [お気に入りビュー] パネルに保存されます。

シーケンスが次の表示に切り替わるたびに、対応するカメラやビューの名前が分割画面領域の上部に概要情報として表示されます。

シーケンス移行時間は [ ユーザー設定 ] ダイアログボックスで設定されます。

シーケンスを開始するには、次のように操作します。

複数のエントリーを選択すると、ツールバーにシーケンスアイコン  が表示されます。

- [ 映像デバイスリスト ] パネルで複数のカメラを選択し、シーケンスアイコンをクリックすると、選択したカメラのシーケンスが開始されます。
- [ お気に入りビュー ] パネルで複数分割画面ビューを 1 つ選択し、シーケンスアイコンをクリックすると、そのビュー内のカメラのシーケンスが単一分割画面で開始されます。
- [ お気に入りビュー ] パネルで複数のビューを選択し、シーケンスアイコンをクリックすると、ビュー内ではなくビュー間のシーケンスが開始されます。
- [ お気に入りビュー ] パネルでシーケンスを 1 つ選択し、シーケンスアイコンをクリックすると、シーケンスが開始されます。エントリーをダブルクリックしても、シーケンスを開始することができます。

自動切り替えを停止するには、アイコンをもう一度クリックします。

参照項目:



- お気に入りシーケンスの作成, ページ 30
- ユーザー設定の設定, ページ 19

## 7.2


### 詳細の表示

Video Client では、カメラのズーム機能を使用する以外にも、映像の詳細を表示する方法があります。たとえば、分割画面の 1 つや分割画面領域全体を拡大したり、デジタルズームを使用したりすることができます。

分割画面の 1 つを拡大する ( 単一分割画面にする ) には、次の手順に従って操作します。

- 複数分割画面のレイアウトで、映像が割り当てられている分割画面の 1 つをダブルクリックすると、単一分割画面と複数分割画面のレイアウトを切り替えることができます。
- または、選択された分割画面のヘッダーで  をクリックすると、分割画面領域いっぱいまでの画面を拡大することができます。複数分割画面のレイアウトに戻るには、 をクリックします。  
タイトルバーがアクティブになっていない場合、アイコンが表示されるのは、分割画面にポインターがある場合のみです。

分割画面領域を拡大するには、次のように操作します。

- 不要な枠がある場合は、閉じてください。分割画面領域は、使用できるスペースいっぱいまで拡大されます ( 各分割画面が拡大されます ) 。
- 分割画面領域をアプリケーション画面のサイズいっぱいまで最大化するには、ツールバーで  をクリックします。通常モードに戻すには、自動非表示ツールバーのこのボタンをもう一度クリックするか、ESC キーを押します。

アプリケーション画面のサイズをモニター画面いっぱいになるように拡大するには、次のように操作します。

- F11 キーを押すと、アプリケーション画面のサイズがモニター画面いっぱいになるように最大化されます。もう一度キーを押すと元に戻ります ( ショートカットキーのリストについては後述 ) 。



- アプリケーション画面のサイズをモニター画面いっぱいに拡大してそのまま固定するには、管理者としてログオンし、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスの [ Kiosk モード ] チェックボックスを選択します。

参照項目:

- デジタルズーム, ページ 38
- 標準キーボードショートカット, ページ 52
- ユーザー設定の設定, ページ 19

## 7.3 カメラの制御

ユーザーは、対応する分割画面でマウスを使用するか、情報と操作枠でコントロールを使用して、( 制御可能 ) カメラを制御することができます。

### 7.3.1 カメラコントロール

カメラコントロールを使用して、選択した分割画面でカメラを制御します。開始前に、正しい分割画面が選択されていることを確認してください ( オレンジ色のフレームで示されています )。

デジタルズームの詳細については、以下を参照してください。

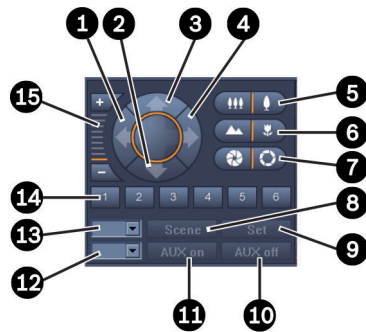








図 7.1: カメラコントロール

1	パン左ボタン	9	[ セット ] ボタン
2	チルトダウンボタン	10	[ <b>AUX</b> オフ ] ボタン
3	チルトアップボタン	11	[ <b>AUX</b> オン ] ボタン
4	パンライトボタン	12	AUX コマンド番号ボックス
5	ズームイン / アウトボタン	13	シーン番号ボックス
6	遠 / 近フォーカスボタン	14	シーン選択ボタン
7	アイリス開 / 閉ボタン	15	デジタルズームボタン
8	[ シーン ] ボタン		

パンおよびチルトを実行するには、次のように操作します。

- 上下の矢印をクリックしてそのまま保持すると、チルトします。
- 左右の矢印をクリックしてそのまま保持すると、パンします。
- マウスボタンを放すと、カメラの動作が停止します。

ズーム、フォーカス、およびアイリスを制御するには、次のように操作します。

-  をクリックしてそのまま保持するとズームアウトし、 をクリックしてそのまま保持するとズームインします。
-  をクリックしてそのまま保持すると、遠くの物体にフォーカスが合います。 をクリックしてそのまま保持すると、近くの物体にフォーカスが合います。
-  をクリックしてそのまま保持するとアイリスを絞り、 をクリックしてそのまま保持するとアイリスを開きます。
- ボタンを放すと、カメラの調整制御動作が停止します。

アクティブなカメラをシーンに移動するには、次のように操作します。

シーンとは、パン、チルト、ズームの設定が定義されたカメラ位置のことです。使用できるシーンの数は、カメラのタイプによって異なります。

1. [シーン] ボタンの横にあるボックスにシーン番号を入力します。
2. [シーン] をクリックして (または ENTER キーを押して) 、選択したシーンにアクティブなカメラを移動します。

または、1~6 番のボタンをクリックして、カメラ位置を最初の 6 つのシーンのいずれかにすばやく移動することもできます。

現在のカメラ位置をシーンとして保存するには、次のように操作します。

1. カメラを希望の位置に設定します。
2. シーン番号を入力します。
3. [セット] をクリックして、選択した番号にアクティブなシーンを保存します。

**AUX** 機能を制御するには、次のように操作します。

AUX 機能は、カメラを制御するための専用コマンドです ( そのようなコマンドをサポートしているカメラの場合 )。

1. [AUX オン] ボタンの横にあるボックスに、目的の AUX コマンドの番号を入力します。
2. AUX コマンドをオンにするには、[AUX オン] をクリックします ( または ENTER キーを押します )。
3. AUX コマンドをオフにするには、[AUX オフ] をクリックします。

参照項目:

- デジタルズーム, ページ 38

### 7.3.2

#### マウスによる制御

制御可能なカメラを使用している場合、分割画面に用意されているウィンドウ内制御機能により、カメラをマウスで制御することができます。

1. 操作したいカメラの分割画面をクリックして操作できる状態にします。
2. アクティブになっている分割画面にポインターを合わせます。ポインターが方向を示す矢印に変わります。
3. 方向矢印が目的の方向を指している状態で、マウスをクリックし、クリックしたまま保持してください。  
カメラが矢印の方向に移動します。
4. パン・チルトの速度は、分割画面上のポインターの位置によって変化します。画面の端の方でクリックすると速度が速くなり、中央の方でクリックすると速度が遅くなります。
5. カメラが目的の位置に移動したら、マウスを放します。
6. マウスのホイールを回転させて、ズームインまたはズームアウトします。

### パノラマカメラ

パノラマカメラの映像は、分割画面の中に収まりません。そのため、分割画面に用意されているウィンドウ内制御機能により、デジタルズームによく似た方法で映像の別のセクションに移動することができます（詳細は後述）。

参照項目:

- デジタルズーム, ページ 38

## 7.4 再生制御

情報と操作枠で、再生コントロールと [タイムライン] パネルを使用して、録画映像の再生を制御します。再生制御は、映像が割り当てられている分割画面すべてで有効です。

### 7.4.1 再生コントロール

情報と操作枠の再生コントロールを使用すると、主に再生の速度や方向を制御したり、録画内の気になる対象ポイントに移動したりすることができます。

デジタルズームの詳細については、以下を参照してください。

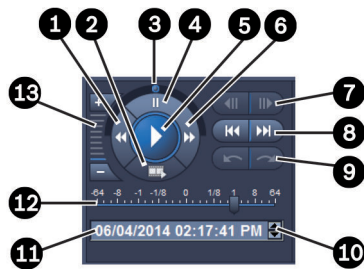






図 7.2: 再生コントロール







1	再生速度を下げる / 逆再生ボタン	8	最初 / 最新の録画への移動ボタン
2	エクスポートボタン	9	前の / 次のイベントへの移動ボタン
3	ジョグダイヤル	10	日時ボックスで選択値を増減させる矢印ボタン
4	一時停止ボタン	11	日時ボックス
5	再生ボタン	12	再生速度スライダー
6	再生速度を上げる / 順方向再生ボタン	13	デジタルズームボタン
7	コマ送り / コマ戻しボタン		

再生を制御するには、次のように操作します。

-  をクリックすると、すべての分割画面で再生が開始されます。  
速度スライダーのハンドルは、「1」( 実際と同じ速度 ) に設定されています。
- 再生の速度と方向は、次の方法で選択できます。
  - ジョグダイヤルを左にドラッグすると逆方向に、右にドラッグすると順方向に再生されます。ジョグダイヤルを多くドラッグすればするほど、再生速度が上がります。ジョグダイヤルを放すと、再生が一時停止します。


-  をクリックすると再生速度が速くなり、 をクリックすると再生速度が遅くなります。クリックするたびに、速度スライダーのハンドルが 1 目盛り分移動します。
  - 速度スライダーのハンドルを目的の位置までドラッグします。
    - 1 = 実際と同じ再生速度
    - 0 = 一時停止
    - 1 → 64 = 早送りの速度を上げる
    - 0 ~ 1 = スローモーション ( 順方向再生 )
    - 0 → -64 = 巻き戻しの速度を上げる
3.  をクリックすると、再生が一時停止します。

気になる対象ポイントに移動するには、次のように操作します。

-  をクリックすると 1 コマ ( フレーム ) 戻り、 をクリックすると 1 コマ ( フレーム ) 進みます。ボタンを押したままにすると、0.5 秒ごとに次のコマ ( フレーム ) が表示されます。これらのボタンは、再生が一時停止されている場合のみ使用できます。
-  をクリックすると最初の録画に、 をクリックすると最新の録画に移動します。
-  をクリックすると前の検索イベントに、 をクリックすると次の検索イベントに移動します。これらのボタンは、検索が正常に実行された場合にのみ使用できます。イベントには、録画インジケータバーで小さなアイコンのマークが付いています。

#### 日時ボックス

ボックスには、現在マーカーがある位置の日時が表示されています。

1. 日時のいずれかをクリックして有効にします。たとえば、日または秒を選択します。有効になった値の背景色が変わります。
2. 有効にした値を 1 ずつ増減させるには、上または下ボタン  をクリックします。または、目的の値を入力します。
  - 分割画面の 1 つ用に入力した値に対応する録画映像がある場合は、マーカーがこの時刻にジャンプします。対応する映像が分割画面に表示されます。
  - 入力した値に対応する録画映像がない場合は、何も起こりません。


参照項目:

- デジタルズーム, ページ 38
- 録画の検索, ページ 47

## 7.4.2

### タイムラインパネル

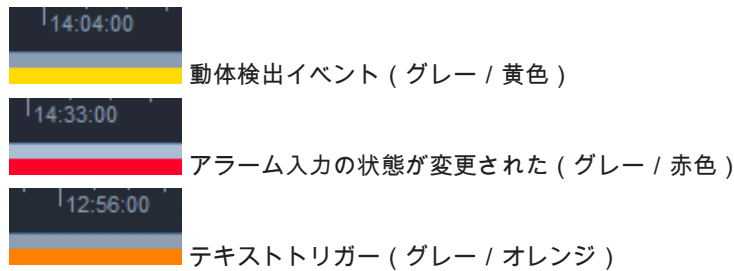
[ タイムライン ] パネルでは、分割画面領域およびコンテキストメニューの録画映像に関する追加情報が表示されます。これにより、録画映像の中をすばやく移動することができます。

- ▶ 再生モードの情報と操作枠で、 をクリックして、[ タイムライン ] パネルを開きます。タイムラインスケールが表示され、映像が割り当てられている各分割画面に、録画インジケータバーが表示されます。すべての分割画面の再生時間は同期しています。録画インジケータバーでは、録画は薄いグレーでマークされます。特定のイベントのマークには別の色が使用されます。詳細については、色付きのセグメントにポインターを合わせて確認してください。

録画インジケータバーのカラーコード：





Divar 700 に接続されたカメラの一部のイベントでは、インジケータバーの下半分にしか色が付かない場合があります。



イベントの検索結果および VCA 検索には、録画インジケータバーで小さなアイコンのマークが付いています。



タイムラインスケールを変更するには、次のように操作します。

- タイムラインスケールを調整するには、 または  ボタンをクリックします。または、タイムラインスケールにポインターを合わせ、マウスホイールを回転させます。すると、選択された間隔の値が 2 つのボタンの間に表示されます ( 例 : 「3 分間」、「1 週間」)。表示された間隔の値が小さければ小さいほど、タイムラインでより大きくズームインすることができます。
- 録画全体のタイムラインを表示するには、2 つのボタンの間に「すべて」と表示されるまでクリックを続けます。

タイムラインで移動するには、次のように操作します。

- 時間を前後に移動するには、タイムラインスケールの上にある矢印ボタンを使用するか、タイムラインスケールをドラッグします。
- タイムラインスケールの下の任意の場所をクリックします。
  - その時点に対応する録画映像がある場合は、マーカーがそこにジャンプします。
  - 対応する録画映像がない場合、マーカーは、使用できる次の録画の開始位置にジャンプします。
- 対応する映像が分割画面領域に表示されます。再生コントロールのコンソールを使用して、目的の再生オプションを選択します。

期間を選択するには、次のように操作します。

期間を選択し、その選択範囲を使用して、映像データのエクスポートなどのタスクを実行できます。

- 期間を選択するには、下部のマーカーのハンドルをドラッグします。
  - 選択範囲のサイズを変更するには、選択範囲の左端または右端をドラッグします。
  - 選択範囲を移動するには、この選択範囲の下部をドラッグします。
- または、録画映像が含まれるタイムラインスケールの下の任意のセクションにポインターを合わせてドラッグします。
- 選択範囲を右クリックして、コンテキストメニューを開き、タスクを実行します。

タイムラインのコンテキストメニュー

コンテキストメニューのコマンドは、[タイムライン]パネルで選択した内容によって異なります。たとえば、一部のコマンドは、選択対象を右クリックした場合にのみ使用できます。



一部の分割画面では使用できないコンテキストメニューコマンドをクリックすると、そのコマンドは、このオプションを使用できる分割画面でのみ実行されます。

- 再生時間の中央  
現在の再生時刻が中央になるようにタイムラインを移動します。
- 選択の中央  
現在の選択対象が中央になるようにタイムラインを移動します ( 選択対象の外側をクリックした場合にのみ使用できます ) 。
- 信頼性チェック  
選択した映像の信頼性をチェックします。
- 削除  
選択した映像を削除します ( レコーダーのみ ) 。
- 次の期間まで削除  
選択対象の終了時間まで、すべての分割画面のすべての録画映像を削除します ( レコーダーのみ ) 。
- エクスポート  
選択した映像に対して [ エクスポート ] ダイアログボックスを開きます。
- バックアップ  
選択した映像のバックアップを作成します ( VRM のみ ) 。
- 保護  
選択した映像を保護します ( VRM のみ ) 。
- 保護を解除  
選択した映像の保護を解除します ( VRM のみ ) 。
- イベント検索結果を表示  
イベント検索の結果を表示します ( その他の検索結果は同時に表示できません ) 。
- テキスト検索結果を表示  
テキスト検索の結果を表示します ( その他の検索結果は同時に表示できません ) 。
- VCA 検索結果を表示  
IVA 検索の結果を表示します ( その他の検索結果は同時に表示できません ) 。
- 選択のクリア  
選択対象を削除します。

## 7.5




### デジタルズーム

デジタルズームでは、分割画面のセクションを拡大表示して見ることができます。ライブモードと再生モードのどちらでも、映像とスクリーンショットをデジタルズームで拡大できます。デジタルズームは、制御可能なカメラのズームに影響を与えません。

1. ポインターを分割画面に合わせた状態でマウスホイールを前に回転させてズームインします。または、分割画面を右クリックして、コンテキストメニューで [ デジタルズーム開始 ] を選択します。  
ポインターが方向を示す矢印に変わり、分割画面の左上に濃いグレーのボックスが表示されます。濃いグレーのボックス内には薄いグレーのボックスが表示されます。これは、映像全体を基準にしたズーム領域です。
2. マウスホイールを回転させてズームイン / アウトするか、情報と操作枠のコントロールの  ボタンおよび  ボタンをクリックします。
3. 別のセクションを矢印の方向に移動するには、分割画面をクリックします。または、薄いグレーのボックスを目的の位置までドラッグします。
4. 完全にズームアウトすると、デジタルズーム機能は自動的にオフになります。

## 7.6 音声の制御

音声を使用できる場合、音声出力を有効にすると、ライブモードと再生モードの両方で、選択した分割画面の音声を聞くことができます。




- ツールバーで  をクリックすると、音声出力が有効になります。音声録音されている場合は、選択した分割画面の音声が再生されます。
-  をクリックすると、音声出力が無効になります。
- 音量を上げるには、スライダー  を右に移動します。

## 7.7 簡易再生

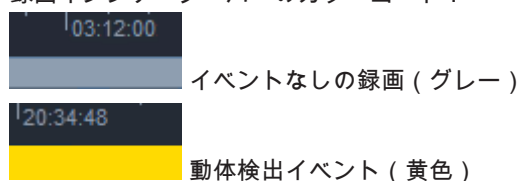
ライブモードでは、簡易再生を使用して、特定のカメラの数秒前の録画映像を表示することができます。当然のことながら、カメラには録画機能が付いている必要があります。

簡易再生のオフセット時間は、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスで設定します。

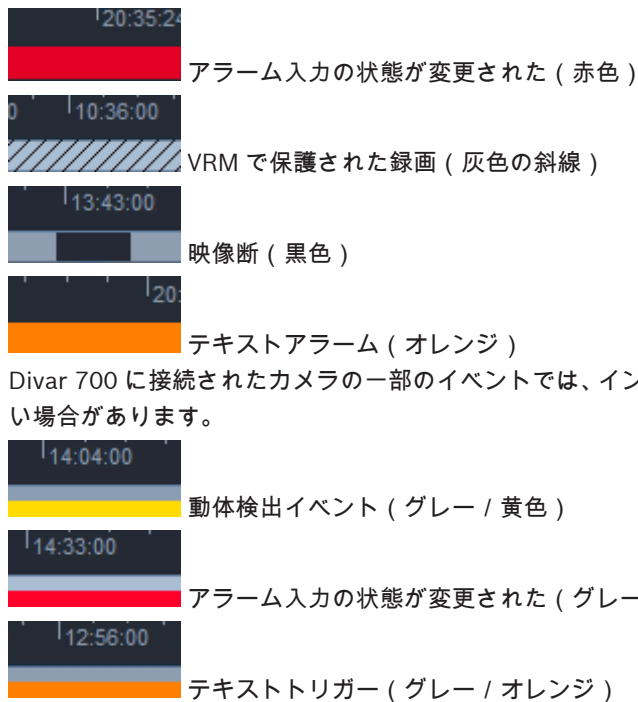
簡易再生を表示するには、次のように操作します。

1. 分割画面を右クリックして、コンテキストメニューで [ 簡易再生を開く ] を選択します。  
[ 簡易再生 ] パネルが開きます。
2.  をクリックすると、再生が開始されます。
3.  をクリックすると、再生が一時停止します。
4.  をクリックすると、現在選択している分割画面の再生が、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスで定義されたオフセット時間で再開されます。  
タイムラインスケールが表示され、その下には録画インジケータバーが表示されます。

録画インジケータバーのカラーコード：









Divar 700 に接続されたカメラの一部のイベントでは、インジケータバーの下半分にしか色が付かない場合があります。

簡易再生を制御するには、次のように操作します。


1. 一時停止中は、 をクリックすると 1 フレーム戻り、 をクリックすると 1 フレーム進みます。
2. タイムラインスケールをドラッグすると、時間内を移動します。
3. インジケータバーを右クリックし、再生位置を示すマーカーの中央にタイムラインを合わせます。
4. マーカーをドラッグすると、再生が録画内のある時点に移動します。
5. 時刻ボックスに日時を入力すると、マーカーがタイムラインのその時点に移動します。

参照項目:

- ユーザー設定の設定, ページ 19

## 7.8 モニターウォールへの割り当て

Video Client では、モニターウォールでのライブ表示を設定することができます。モニターウォールにデコーダーを割り当てる前に、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスでグリッドをセットアップしておく必要があります。そうしないと、タスク枠で [ モニターウォール ] パネルは使用することができません。

1. ライブモードのタスク枠で  をクリックして、[ モニターウォール ] パネルを開きます。上のセクションに、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスでセットアップしたようにグリッドが表示されます。デコーダーが割り当てられた位置は、濃いめのグレーの境界線でマークされます。別のサイトに属しているデコーダーを割り当てた場合、現在接続されているサイトのデコーダーのみ使用することができます。
2. ポインターを位置に合わせて移動します。境界線の色がオレンジに変わり、対応するデコーダーがパネルの下のセクションに表示されます。
3. コンテキストメニューからレイアウトを選択するには、上のセクションで位置を右クリックします。下のセクションのデコーダーでは、1 つまたは 4 つの分割画面が表示されます。



4. カメラをシステムパネルから [ モニターウォール ] パネルの下のセクションにあるデコーダーの分割画面までドラッグします。  
または、カメラや分割画面のコンテキストメニューを使用して、カメラを割り当てます。
5. デコーダーの分割画面を右クリックすると、コンテキストメニューが開きます。一部のコマンドについては、使用できない場合もあります。
  - 映像入力を選択  
使用できるカメラが一覧表示されます。
  - 分割画面をクリア  
現在のビデオ / 分割画面の割り当てがキャンセルされます。
  - シーケンス表示を停止  
シーケンスの実行が停止されます。


参照項目:

- [ユーザー設定の設定](#), ページ 19

## 8 入力と出力の制御

ライブモードのアクセサリとアーカイブ枠では、システムのすべてのデバイスの入力と出力が、Configuration Manager アプリケーションでの設定に応じて表示されます。  
デバイスがサイトに属している場合、入力と出力は、サイトに接続されている間のみ表示されます。

アラーム出力を制御するには、次のように操作します。

1. ライブモードのアクセサリとアーカイブ枠で  をクリックして、[ アラーム出力 ] パネルを開きます。
2. 接続が解除されたサイトのアラーム出力を表示するには、サイトを右クリックして、コンテキストメニューから接続を実行します。
3. 状態を切り替えるには、接続されているアラーム出力をダブルクリックします。
4. 状態を切り替えたり、プロパティを表示したりするには、アラーム出力を右クリックしてコンテキストメニューを使用します。

接続されているアラーム出力 ( リレーなど ) は、緑色の点を重ねて表示されます。このアイコンはアラーム出力の状態を示しています。




閉じたアラーム出力のアイコンは、出力がアクティブであることを示します。



開いたアラーム出力のアイコンは、出力がアクティブでないことを示します。

アラーム入力を制御するには、次のように操作します。

1. ライブモードのアクセサリとアーカイブ枠で  をクリックして、[ アラーム入力 ] パネルを開きます。
2. 接続が解除されたサイトのアラーム入力を表示するには、サイトを右クリックして、コンテキストメニューから接続を実行します。
3. コンテキストメニューからプロパティを表示するには、アラーム入力を右クリックします。

接続されているアラーム入力は、緑色の点を重ねて表示されます。このアイコンは入力の状態を示しています。



赤いアラーム入力アイコンは、入力がアクティブであることを示します。







グレーのアラーム入力アイコンは、入力がアクティブでないことを示します。


## 9 スクリーンショットの保存と表示

カメラ映像の静止画をコンピューターのハードディスクにスクリーンショットとして保存します。これらのスクリーンショットのデフォルトの場所は、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスで定義されています。その場所が [ ユーザー設定 ] ダイアログボックスに一覧表示されている場合、保存されたスクリーンショットには、アクセサリとアーカイブ枠の [ スクリーンショット ] パネルからアクセスできます。

スクリーンショットをコンピューターのハードディスクに保存するには、次のように操作します。

1. 分割画面をクリックして選択します。
2. タスク枠で  をクリックして [ 分割画面取り込み ] パネルを開きます。  
[ 分割画面取り込み ] パネルが開き、選択した分割画面の静止画が表示されます。画像の下には識別情報が表示されます。
3. 画像を更新するには、パネルの左下の  をクリックします。
4. 保存場所を変更するには、ドロップダウン矢印をクリックします。別のデフォルトの場所を選択するか、[ 参照... ] をクリックして新しいパスを入力します。
5. 新しいパスを入力した場合は、チェックボックスをオンにして、新しい場所をモニター対象ディレクトリに追加します。このファイルが、アクセサリとアーカイブ枠の [ スクリーンショット ] パネルに表示されていて、簡単にアクセスできるようになります。
6. ファイル名を変更するには、新しいファイル名を入力します。
7. 画像形式を変更するには、ドロップダウン矢印をクリックし、目的の形式を選択します。
8. 画像を保存するには、 をクリックします。  
スクリーンショットの解像度は、カメラ画像の解像度と同じです。
9. 現在アクティブな分割画面から新しい静止画を保存する場合は、 をクリックします。

スクリーンショットを表示するには、次のように操作します。

1. アクセサリとアーカイブ枠で  をクリックして、[ スクリーンショット ] パネルを開きます。
2. アーカイブされたスクリーンショットのリストは、[ ユーザー設定 ] > [ ディレクトリ ] > [ モニターされる取り込み場所 ] で定義されたすべての場所について表示されます。
3. コンテキストメニューからプロパティを表示するには、ファイルを右クリックします。他には次のようなメニューオプションがあります。
  - スクリーンショット名の変更  
ファイルの新しい名前を入力することができます。
  - スクリーンショットの削除  
選択したファイルを警告なしで削除します。
4. スクリーンショットを表示するには、スクリーンショットをダブルクリックするか、分割画面にドラッグします。

参照項目:

- ユーザー設定の設定, ページ 19

## 10 ビデオクリップのエクスポート

ライブ映像または録画のビデオクリップを、コンピューターのハードディスクにエクスポートします。保存されたファイルは、再生モードまたは Export Player アプリケーションで表示することができます。

参照項目:


- 保存されたクリップの表示, ページ 46

### 10.1 ワークステーションによる録画

ライブモードでは、ワークステーション録画を使用して、ビデオクリップをコンピューターのハードディスクに手動でエクスポートします。ワークステーション録画は 10 分に制限されており、同時に 2 つの録画を実行することができます。日時のオーバーレイは保存されません。



ワークステーション録画の場所は、Configuration Manager アプリケーションで設定されます。これは、[ ユーザー設定 ] ダイアログボックスで情報として表示されます。パスが [ ユーザー設定 ] ダイアログボックスでモニター対象の場所のリストに追加されている場合、エクスポートされたファイルを再生モードで表示することができます。

1. 分割画面にポインターを合わせます。

2. 分割画面の左下に表示される [ ワークステーション録画の開始 ] アイコン  をクリックします。

または、分割画面を右クリックして、コンテキストメニューから [ ワークステーション録画の開始 ] を選択します。

録画が開始され、[ ジョブのエクスポート ] パネルが表示されます。


3. ワークステーション録画を停止するには、分割画面で  をクリックするか、[ ジョブのエクスポート ] パネルで  をクリックします。


参照項目:

- ユーザー設定の設定, ページ 19

### 10.2 録画のビデオクリップのエクスポート






再生モードでは、選択した期間のビデオクリップをコンピューターのハードディスクにエクスポートします。同時にエクスポートできる録画は最大 4 つです。エクスポートできるファイルサイズは 2 GB までに制限されています。

1. 再生コントロールのコンソールの [ エクスポート ] ボタン  をクリックし、[ エクスポート ] ダイアログボックスを開きます。
2. デフォルトの場所を変更するには、コンピューターのファイルシステムを参照して、エクスポートファイルを保存する場所を指定します。
3. 新しいパスを入力した場合は、チェックボックスをオンにして、新しい場所をモニター対象ディレクトリに追加します。このフォルダーが、アクセスリとアーカイブ枠の [ エクスポート ] パネルに表示されていて、簡単にアクセスできるようになります。
4. ファイル名を変更するには、新しいファイル名を入力します。
5. 開始日時および終了日時を変更するには、[ 開始 ] ボックスおよび [ 終了 ] ボックスに新しい値を入力します。  
または、カレンダーアイコンをクリックして日付を選択します。

6. デフォルトでは、分割画面領域のすべてのカメラがエクスポート用に一覧表示されます。1つのカメラから複数の異なるトラックが割り当てられている場合、これらは別のエントリーとして一覧表示されます。エクスポートからエントリーを削除するには、チェックボックスをオフにします。
7. エクスポートファイルの形式を定義するには、[ エクスポート形式 ] オプションを選択します。
8. エクスポートファイルの推定サイズが表示されます。エクスポートファイルを保存する場所に十分な空きがあることを確認してください。  
エクスポートできるファイルサイズは最大 2 GB です。制限を超過している場合は、エクスポート設定を調整してください。
9. [ エクスポート ] をクリックします。  
[ ジョブのエクスポート ] パネルが開き、エクスポートのプログレスバーが表示されます。
10. エクスポートをキャンセルするには、[ ジョブのエクスポート ] パネルの  をクリックします。エクスポートジョブはバックグラウンドで実行されるので、Video Client を使用し続けて、ライブ表示、再生、検索、および別のエクスポートタスクを実行できます

### 10.3 [ ジョブのエクスポート ] パネル

[ ジョブのエクスポート ] パネルには、ワークステーション録画および映像エクスポートのジョブの進行状況が表示されます。

1. 情報と操作枠で  をクリックして、[ ジョブのエクスポート ] パネルを開きます。最初の列のアイコンで、ジョブの種類がわかります。
  -  ワークステーション録画
  -  映像エクスポート
2. ワークステーション録画または映像エクスポートのジョブを停止するには、 をクリックします。
3. 停止または完了したジョブをリストから削除するには、 をもう一度クリックします。

すべてのエクスポートのログは、以下の場所に保管されます。



- **Windows XP :**  
C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\Bosch\Video Client\ExportLog.txt
- **Windows 7 / Windows 8 / Windows Vista :**  
C:\Program Files\Bosch\Video Client\ExportLog.txt  
With 64-bit operating systems:  
C:\Program Files (x86)\Bosch\Video Client\ExportLog.txt

## 11 保存されたクリップの表示

再生モードでは、コンピューターのハードディスクに保存されたワークステーション録画やエクスポートビデオクリップ、およびメモリーカードの録画を表示することができます。

エクスポートされたビデオクリップを再生するには、次のように操作します。



1. アクセサリとアーカイブ枠で  をクリックして、[エクスポート] パネルを開きます。
2. エクスポートされたファイルセットのリストは、[ユーザー設定] > [ディレクトリ] > [モニターされるエクスポート場所] で定義されたすべての場所について表示されます。
3. ファイルセットに保存されているクリップを一覧表示するには、 をクリックします。
4. クリップを再生するには、クリップをダブルクリックするか、分割画面にドラッグします。複数のクリップがあるファイルセットを複数分割画面ビューの分割画面にドラッグすると、ファイルセットの最初の4つのクリップが分割画面に割り当てられ、再生が開始されます。

注意：

ASF形式でエクスポートされたファイルは、Video Clientでは再生できません。ASFファイルは、Windows Media Playerなどの標準的なソフトウェアで再生できます。

コンテキストコマンド


- コンテキストメニューからプロパティを表示するには、ファイルセットを右クリックします。他には次のようなメニューオプションがあります。
  - エクスポート名の変更  
ファイルセットの新しい名前を入力することができます。
  - エクスポートの削除  
選択したエクスポートファイルを警告なしで削除します。
- コンテキストメニューからプロパティを表示するには、クリップを右クリックします。他には次のようなメニューオプションがあります。
  - 信頼性チェック  
選択したクリップの信頼性をチェックします。

メモリーカードの録画の再生

メモリーカード上に録画されたトラックにアクセスするには、デバイスからカードを取り出します。

1. コンピューターのカードリーダーにメモリーカードを挿入します。
2. [ユーザー設定] > [ディレクトリ] > [モニターされる取り込み場所] で、メモリーカードのパスを入力します。



3. アクセサリとアーカイブ枠の  をクリックすると、[エクスポート] パネルが開きます。再生に適したファイルの一覧が表示されます。
4. ファイルを表示するには、ファイルをダブルクリックするか、分割画面にドラッグします。

参照項目：

- [ユーザー設定の設定](#), ページ 19

## 12 録画の検索

再生モードでは、録画を検索するためのパネルが右側のタスク枠に用意されています。

- [ イベント検索 ] パネルを使用すると、特定のイベントを検索することができます。
- [ **VCA** 検索 ] パネルを使用すると、映像コンテンツ解析 ( VCA ) アルゴリズムに基づいて検索することができます。




3 つ目の検索パネルは、Divar 700 に接続されているカメラで使用できます。

- [ テキスト検索 ] パネルでは、定義されたテキストで録画を検索できます。

検索は、分割画面領域の録画に対して実行できます。この種の検索を実行できるのは一度に 1 つの録画に対してのみであるため、[ **VCA** 検索 ] パネルを開くと、レイアウトは自動的に単一分割画面に変わります。

### 検索結果

検索が終了すると、検索結果のリストが分割画面領域に表示されます。このリストでは、最も新しい録画が一番上に表示され、最も古い録画が一番下に表示されます。

1. 列の見出しをクリックすると、その列の項目を基準にしてリストを並べ替えることができます。もう一度クリックすると、リストが逆順で並べ替えられます。
2. スクロールバーを使用してリスト全体を確認できます。
3. リスト内のエントリーをクリックして選択します。そのエントリーの映像が、対応する分割画面に表示されます。
4. 再生コントロールのコンソールを使用して、再生速度や再生方向を調節します。
5. リストを閉じるには、 をクリックします。
6. リストを再度開くには、検索パネルで  をクリックします。
7. リストをクリアするには、検索パネルで  をクリックします。


イベントの検索結果および VCA 検索には、録画インジケータバーで小さなアイコンのマークが付いています。



参照項目:


- [再生制御](#), ページ 35

### 12.1 イベントの検索

1. 再生モードのタスク枠で  をクリックして、[ イベント検索 ] パネルを開きます。
2. 検索期間を設定するには、[ 開始 ] ボックスおよび [ 終了 ] ボックスに日時を入力します。または、[ タイムライン ] パネルで期間を選択します。
3. [ トラック選択 ] の下には、分割画面領域のすべてのトラックが表示されます。検索から除外するトラックがある場合は、その選択を解除します。
4. 検索するイベントを指定するには、目的の種類を選択します。
  - アラーム入力
  - 動体

- テキスト  
(適切なライセンスがあり、Divar 700 に接続されたカメラで録画された映像の場合のみ)
- 映像断
- システムイベント
- アラームのみ

5. 検索を開始するには、 をクリックします。

6. 検索をキャンセルするには、 をクリックします。

## 12.2


### VCA 検索


映像コンテンツ解析 (VCA) アルゴリズムに基づいた検索は、一度に 1 つの録画に対してのみ実行できます。そのため、[ VCA 検索 ] パネルを開くと、分割画面領域のレイアウトは自動的に単一分割画面ビューに変わります。

使用できる検索アルゴリズムは、選択した録画によって異なります。各種のアルゴリズムのヘルプファイルは、ツールバーのヘルプ索引または [ VCA 検索 ] パネルのヘルプボタンからアクセスできます。詳細については、各アルゴリズムに関するドキュメントも確認してください。


頻繁に使用する VCA 検索設定を、最大 4 つまでプリセットとして保存することができます。そうすると、各検索の設定をワンクリックで再読み込みできるようになります。たとえば、異なる録画や異なる期間を同じ設定で検索できます。

#### VCA 検索の実行

1. 再生モードのタスク枠で  をクリックして、[ VCA 検索 ] パネルを開きます。
2. 録画映像に対して使用できるアルゴリズムが、ドロップダウンボックスに一覧表示されます。検索に使用するアルゴリズムを選択します。  
選択したアルゴリズムのパラメーターがパネルに表示されます。

3. 目的のパラメーターを変更します。選択したアルゴリズムのヘルプファイルを開くには、 をクリックします。
4. 検索期間を設定するには、[ タイムライン ] パネルで期間を選択します。

5. 検索を開始するには、 をクリックします。

6. 検索をキャンセルするには、 をクリックします。

検索プリセットを保存および再読み込みするには、次のように操作します。

1. 選択したアルゴリズムの設定が完了していることを確認します。
2. ドロップダウンボックスで、プリセット番号を選択します。
3. プリセットの名前を入力します。

4.  をクリックして選択を保存します。




このプリセットは、各アルゴリズムをサポートするすべての録画で使用可能です。このプリセット番号の内容が別の設定で上書きされない限り、このプリセットが保存されます。

5. 保存した設定を再読み込みするには、目的のプリセット番号を選択して  をクリックします。



## 12.3 テキストの検索

テキスト検索は、該当するライセンスがインストールされ、Divar 700 に接続されたカメラで録画された映像でのみサポートされます。




1. 再生モードのタスク枠で  をクリックして、[ テキスト検索 ] パネルを開きます。
2. 検索期間を設定するには、[ 開始 ] ボックスおよび [ 終了 ] ボックスに日時を入力します。  
または、[ タイムライン ] パネルで期間を選択します。
3. [ トラック選択 ] の下には、分割画面領域のすべてのトラックが表示されます。検索から除外するトラックがある場合は、その選択を解除します。
4. 検索する文字列を入力します。
5. 検索文字列に完全に一致する検索結果を表示するには、[ 大文字/小文字を区別 ] チェックボックスをオンにします。
6. 検索を開始するには、 をクリックします。
7. 検索をキャンセルするには、 をクリックします。

## 13 テキストビューア枠の使用




[ テキストビューア ] 枠には、Divar 700 に接続されているカメラからのテキストが表示されます。ライン番号と日付スタンプがテキストの前に表示されます。

ライブモードでは、Divar 700 に接続されているカメラがシステムに割り当てられている場合のみ、[ テキストビューア ] 枠を開くためのアイコンが表示されます。

再生モードでは、アイコンは表示されますが、枠には Divar 700 に接続されているカメラの録画映像に関連付けられたテキストのみが表示されます。


1. [ テキストビューア ] 枠を開くには、ツールバーで  をクリックします。
2. [ テキストビューア ] 枠をクリアするには、 をクリックします。
3. [ テキストビューア ] 枠を閉じるには、 をクリックします。

テキストをエクスポートするには、次のように操作します。

1. [ テキストビューア ] 枠で  をクリックして、テキストを一時停止します。
2. クリップボードにテキストをコピーするには  をクリックし、テキストをファイルに保存するには  をクリックします。

## 14 ステータスメッセージの取得

[ ログブック ] パネルに、デバイスログオンアクションやイベントのようなシステムのステータスメッセージが一覧表示されます。

- ▶ 情報と操作枠で、 をクリックして、[ ログブック ] パネルを表示します。一部のメッセージは、最初の列にアイコンが表示されています。そのようなエントリーを確認するには、エントリーをダブルクリックします。



アラームイベント



アラームイベント ( 確認済み )



接点入力アクティブ



接点入力アクティブ ( 確認済み )



動体検出イベント



動体検出イベント ( 確認済み )



映像断



映像断 ( 確認済み )



テキストメッセージ



テキストメッセージ ( 確認済み )

注意：

VRM のステータスメッセージを表示するには、Video Client とともに配信されたパッチを、対応する VRM アプリケーションを実行中のコンピューターにインストールします。

参照項目：

- ソフトウェアのインストール, ページ 5

## 15 付録

以後の章では、さまざまなトピックに関する追加な情報について説明します。

### 15.1 標準キーボードショートカット

次の表は、コンピューターの標準キーボードからショートカットキーを使って制御できる機能をまとめたものです。一部のショートカットキーについては、ユーザーインターフェースでフォーカスしている対象によって、機能が異なる場合があります。パネルにフォーカスするショートカットキーを使用する場合、ポインターはそのパネルの中央に置かれます。

一般的なショートカットキー

アクション	キー
アプリケーションヘルプを表示	F1
ライブモード / 再生モードを切り替える	F2
ログオフ	F4
アプリケーションを終了	Alt+F4
[ ユーザー設定 ] を表示	F5
音声オン / オフを切り替える	F7
音声をオンにして音量を上げる	F8
音声をオンにして音量を下げる	Shift+F8
[ テキストビューア ] を表示	F9
分割画面領域をアプリケーション画面のサイズいっぱいまで最大化 ( および元に戻す )	F10
アプリケーション画面のサイズをモニター画面いっぱいまで最大化 ( および元に戻す )	F11
分割画面領域にフォーカス	Ctrl+V
[ お気に入りビュー ] パネルを表示	Ctrl+F
[ 映像デバイスリスト ] パネルを表示	Ctrl+D
[ スクリーンショット ] パネルを表示 ( 拡大されたアクセサリとアーカイブ枠でのみ )	Ctrl+S
[ ジョブのエクスポート ] パネルを表示 ( 拡大された情報と操作枠でのみ )	Ctrl+J
[ 分割画面取り込み ] パネルを表示	Alt+C
分割画面領域レイアウトを 1 画面表示に設定	Ctrl+1
分割画面領域レイアウトを 4 分割表示に設定	Ctrl+2
分割画面の装飾を設定しない	Alt+1
タイトルオーバーレイの分割画面の装飾を設定	Alt+2

アクション	キー
タイトルバーの分割画面の装飾を設定	Alt+3
VCA オーバーレイの分割画面の装飾を切り替える	Alt+4

## 分割画面領域のショートカットキー

アクション	キー
左側にある分割画面を選択	左矢印
右側にある分割画面を選択	右矢印
上にある分割画面を選択	上矢印
下にある分割画面を選択	下矢印

## ライブモードのショートカットキー

アクション	キー
[ アラーム出力 ] パネルを表示 ( 拡大されたアクセサリとアーカイブ枠でのみ )	Ctrl+R
[ アラーム入力 ] パネルを表示 ( 拡大されたアクセサリとアーカイブ枠でのみ )	Ctrl+C
[ 簡易再生 ] パネルを表示	Alt+P
[ ビューデザイナー ] パネルを表示	Alt+V
[ モニターウォール ] パネルを表示	Alt+M
[ ログブック ] パネルを表示 ( 拡大された情報と操作枠でのみ )	Ctrl+L
分割画面領域レイアウトを 3×3 分割表示に設定	Ctrl+3
分割画面領域レイアウトを 4×3 分割表示に設定	Ctrl+4

## [ 映像デバイスリスト ] パネルおよび [ お気に入りビュー ] パネルのショートカットキー

アクション	キー
リストの前のエントリーを選択	上矢印
リストの次のエントリーを選択	下矢印
映像デバイスリストで表示されている部分の最初のエントリーを選択	PageUp
映像デバイスリストで表示されている部分の最後のエントリーを選択	PageDown
リストの最初のエントリーを選択	Home
リストの最後のエントリーを選択	End

アクション	キー
リストの選択したエントリーを展開	右矢印
リストの選択したエントリーを折りたたむ	左矢印

〔映像デバイスリスト〕パネルのフィルタ入カラインのショートカットキー

アクション	キー
次の文字へ移動	右矢印
次の文字を選択	Shift+右矢印
前の文字へ移動	左矢印
前の文字を選択	Shift+左矢印
最初の文字に移動	Home
最後の文字に移動	End
次の文字を削除	Del
前の文字を削除	BackSpace

再生モードのショートカットキー

アクション	キー
再生コントロールのコンソールに移動 ( 拡大された情報と操作枠でのみ )	Ctrl+P
〔タイムライン〕パネルを表示 ( 拡大された情報と操作枠でのみ )	Ctrl+T
〔エクスポート〕パネルを表示 ( 拡大されたアクセサリとアーカイブ枠でのみ )	Ctrl+X
〔イベント検索〕パネルを表示	Alt+E
〔VCA 検索〕パネルを表示	Alt+I
〔テキスト検索〕パネルを表示	Alt+T

再生コントロールのコンソールのショートカットキー

アクション	キー
順方向に再生 ( 速度 : 1 ) / 一時停止	Spacebar
逆方向に再生 ( 速度 : -1 ) / 一時停止	Shift+Spacebar
再生速度を少しずつ上げる	プラス ( + ) キー
再生速度を少しずつ下げる	マイナス ( - ) キー
一時停止モードで : 1 コマ ( フレーム ) 戻る	左矢印
一時停止モードで : 1 コマ ( フレーム ) 進む	右矢印

## タイムラインのショートカットキー

アクション	キー
タイムラインを左へ移動	Ctrl+左矢印
タイムラインを右へ移動	Ctrl+右矢印
タイムラインを少しずつ左へ移動	Shift+左矢印
タイムラインを少しずつ右へ移動	Shift+右矢印
タイムラインの中心を選択対象の開始位置に合わせる、または最初の録画の開始位置にジャンプする ( 選択対象がない場合 )	Home
タイムラインの中心を選択対象の終了位置に合わせる、または最後の録画の終了位置にジャンプする ( 選択対象がない場合 )	End
タイムラインにズームイン	PageUp
タイムラインをズームアウト	PageDown

## 15.2 IntuiKey キーボードの使用

弊社の IntuiKey キーボードを使用して、ライブモードと再生モードで一部の機能を制御できます。キーボードにインストールされているファームウェアバージョンが 1.96 であることを確認してください。このキーボードは、RS-232 でコンピューターに接続します。

インストールおよび一般的な操作方法については、IntuiKey のマニュアルを参照してください。

IntuiKey キーボードで Video Client を制御している場合、アプリケーションの機能の一部は無効化されます。そのため、IntuiKey 操作のためにアプリケーションが正しく設定されていることを確認する必要があります。

「-sites」コマンドラインパラメーターを使用している場合、IntuiKey キーボードは使用できません。

### 15.2.1 IntuiKey キーボードのインストール前に

IntuiKey キーボードをインストールする前に、以下の点を考慮して、Video Client を設定してください。



- ユーザー名とパスワードには数字しか使用できません。これは、ユーザー名とパスワードの入力には、IntuiKey キーボードのテンキーしか使用できないためです。
- 必要なお気に入りビューをすべて設定してください ( 少なくとも、レイアウトを 1 つ定義する必要があります )。
- シーケンスを設定してください。





ヒント :

お気に入りグループの先頭に数字を [ ] で囲んで指定すると ( 例 : [300] )、このグループ内の項目には、その数字に基づいて順番に番号が振られます ( [301]、[302] など )。

[ ビューデザイナー ] パネル、[ モニターウォール ] パネル、および [ 分割画面キャリブレーション ] パネルは使用できません。

ツールバーでは、次の機能は使用できないか、または限定されます。

	ユーザー設定 ( 一部機能限定 )
	シーケンスの開始 / 停止


	分割画面の装飾選択 (一部機能限定)
	<b>Configuration Manager</b> の起動
	ヘルプ索引を表示
	最小化

## 15.2.2

### IntuiKey キーボードのセットアップ

IntuiKey キーボードをコンピューターに接続します。Configuration Manager アプリケーションで、コンピューターの通信ポート番号を設定し、キーボードの使用を有効にします。

IntuiKey キーボードのインストールが完了したら、Video Client を再起動します。接続時に、[ **Prod** ] ボタンを押してから、**Terminal** の隣のソフトキーを押します。

アプリケーションにログオンするには、テンキーと Enter キー  を使用してユーザー名とパスワードを入力します。

Video Client が開き、コンパクトユーザーインターフェースが表示されます。

IntuiKey キーボードを使用している場合、直接ログオンすることはできません。

## 15.2.3

### IntuiKey キーボードによる制御

ソフトキーのディスプレイには最初、ライブモードで使用可能な機能が表示されます。

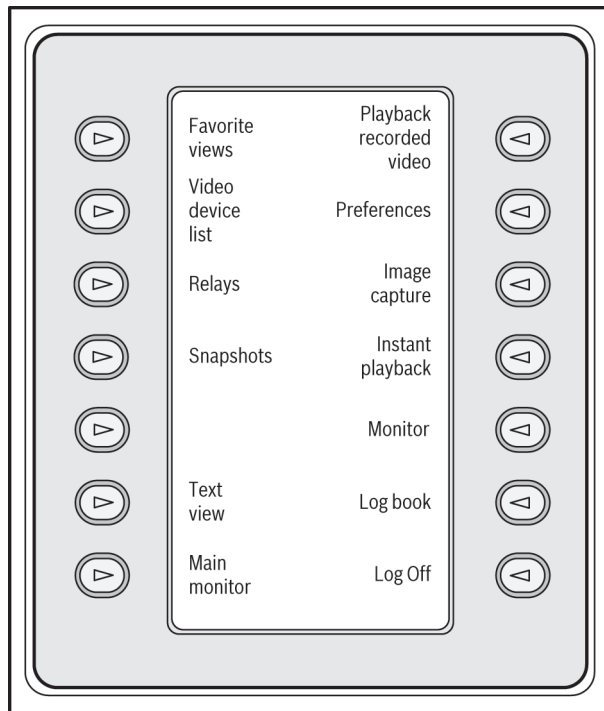



図 15.1: ライブモードで表示される英語版ソフトキーディスプレイの例

機能を選択するには、対応するソフトキーを押します。そのままソフトキーを使用して、サブメニューの項目を選択します。

[ ] で囲まれた数字に続けて、お気に入りビュー、アラーム入力、シーケンス、およびアラーム出力がアプリケーションに表示されます。機能を選択するには、テンキーからこの数字を入力し、Enter キー  を押します。

分割画面を選択するには、**Mon** キーを使用します。



### 再生モード

ライブモードで [再生モード] を選択すると、次のように表示されます。

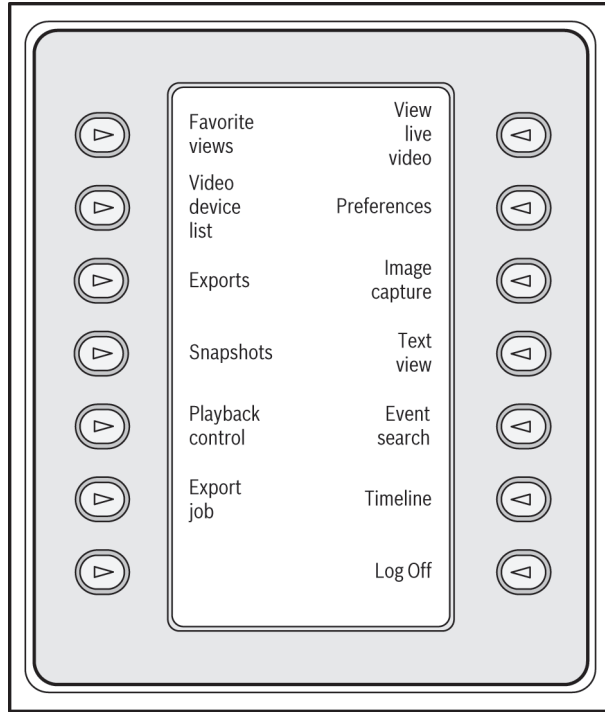


図 15.2: 再生モードで表示される英語版ソフトキーディスプレイの例

再生やタイムラインアクションの制御には、ジョイスティックも使用できます。

アプリケーションの終了

アプリケーションを終了するには、[ログオフ] を選択します。

## 15.3

### コマンドラインからの起動

このプログラムは、追加のパラメーターを指定してコマンドラインからも起動できます。

使用できるパラメーターの詳細を説明するヘルプを表示するには、「-?」パラメーターをコマンドラインに追加します。次に例を示します。

```
C:\Program Files (x86)\Bosch\Video Client\videoclient.exe -?
```

サイトパラメーター

「-sites」パラメーターを使用する場合、異なるサイトにある複数のデバイスについての設定が記述された xml ファイルのパスを指定する必要があります。次に例を示します。

```
C:\Program Files (x86)\Bosch\Video Client\videoclient.exe -sites D:\sites_file.xml
```

「-sites」コマンドラインパラメーターを使用している場合、IntuiKey キーボードは使用できません。

**XML ファイル構造**

xml ファイルは、次の例に示すように単純な構造になっています。

```

<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<sites>
  <showFilter>True</showFilter>  <!-- Element is optional - default value is: True -->
  <site>
    <site>
      <devices>
        <device>10.10.181.131</device>
        <!-- Enter devices typing the IP address, the default device type is Divar 700 -->
        <device>10.10.181.130:8080</device>
        <!-- Also supported: <ip address>:<port number> -->
        <device>http://DIVARs.no-ip.org:10080</device>
        <!-- Also supported: http://<URL>:<port number> including DDNS addresses -->
        <device type="Divar 700">10.10.181.129</device>
        <!-- Optional attribute to define device type as Divar 700 -->
        <device type="Divar 400">10.10.181.128</device>
        <!-- Optional attribute to define device type as Divar 400 -->
        <device type="Divar 600">10.10.181.127</device>
        <!-- Optional attribute to define device type as Divar 600 -->
        <device type="DVR-3000">10.10.181.126</device>
        <!-- Optional attribute to define device type as DIVAR AN 3000 -->
        <device type="DVR-5000">10.10.181.125</device>
        <!-- Optional attribute to define device type as DIVAR AN 5000 -->
        <device type="Storage Manager">10.10.181.124</device>
        <!-- Optional attribute to define device type as VRM, including DIVAR IP 2000 and DIVAR IP 6000 -->
      </devices>
      <description>Test devices on Bosch premises</description>
    </site>
    <site>
      <devices>
        <description>Divar700</description>
      </devices>
    </site>
    <site>
      <devices>
        <description>Single</description>
      </devices>
    </site>
    <site>
    </site>
    <site>
    </site>
  </sites>

```


編集可能なサンプル xml ファイルは、Bosch の Web サイトにあります。

#### [ サイトコネクター ] パネル

システム枠の [ サイトコネクタ ] パネルには、起動 xml ファイルに指定された複数のデバイスが表示されます。

デバイスにログオンするには、次の手順に従って操作します。

1. 表示されるサイト数を減らすには、必要に応じてフィルタ部分にテキストを入力します。
2. デバイスを選択し、ユーザー名とパスワードを入力します。

3.  をクリックしてデバイスにログオンし、接続されているカメラのリストを取得します。

## 15.4

### 映像オーバーレイ

映像には、重要なステータス情報をオーバーレイ表示できます。オーバーレイでは、次の情報が表示されます。



デコードエラー

デコードエラーにより、フレームにノイズが発生する場合があります。



アラームフラグ

アラームが発生したことを示します。



通信エラー

ストレージメディアへの接続の失敗、プロトコル違反、タイムアウトなど、通信エラーはこのアイコンによって示されます。

**ギャップ**

録画映像内のギャップを示します。

**透かしが有効**

メディア項目に設定された透かしが有効であることを示します。チェックマークの色は、選択した映像認証方式によって異なります。

**透かしが無効**

透かしが有効ではないことを示します。

**動体検出アラーム**

動体検出アラームが発生したことを示します。

**ストレージ検出**

録画映像を取得していることを示します。

**インテリジェント追跡がアクティブ**

インテリジェント追跡がアクティブであることを示します(インテリジェント追跡がサポートされているカメラでのみ使用可)。

**インテリジェント追跡がアイドル状態**

インテリジェント追跡が、追跡対象を待っていてアイドル状態であることを示します(インテリジェント追跡がサポートされているカメラでのみ使用可)。

**インテリジェント追跡が一時停止**

インテリジェント追跡が、ユーザーの操作により一時停止状態であることを示します(インテリジェント追跡がサポートされているカメラでのみ使用可)。

**インテリジェント追跡のリカバリー**

インテリジェント追跡で、追跡対象を見失い、映像を検索して再検出しようとしている状態であることを示します(インテリジェント追跡がサポートされているカメラでのみ使用可)。





**Bosch Sicherheitssysteme GmbH**

Robert-Bosch-Ring 5

85630 Grasbrunn

Germany

**[www.boschsecurity.com](http://www.boschsecurity.com)**

© Bosch Sicherheitssysteme GmbH, 2015